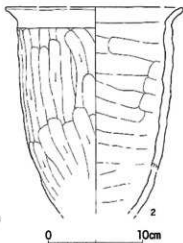


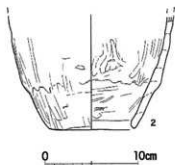
第88圖 SI15出土土器



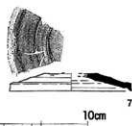
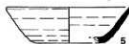
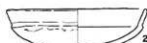
第89圖 SI16出土土器



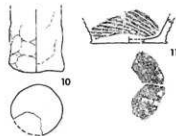
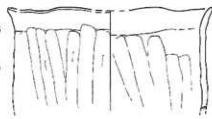
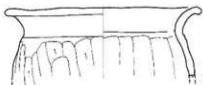
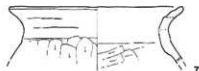
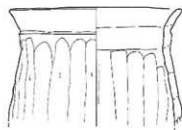
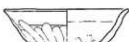
第90圖 SI17出土土器



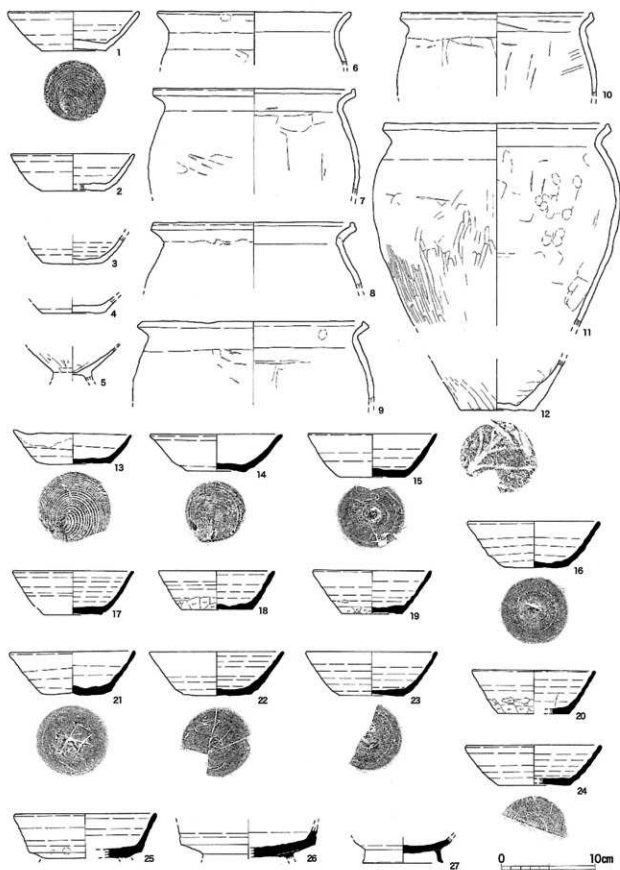
第91圖 SI18出土土器



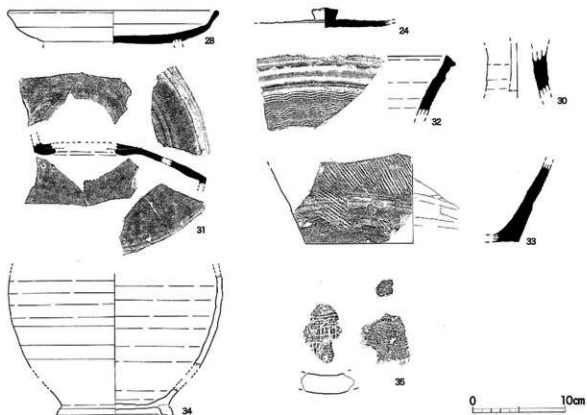
第92圖 SI20出土土器



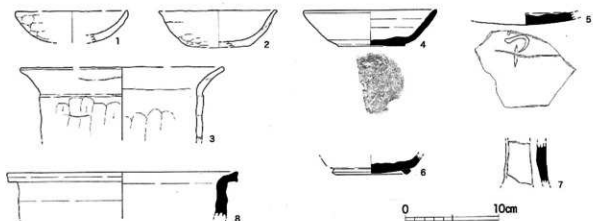
第93圖 SI21出土土器



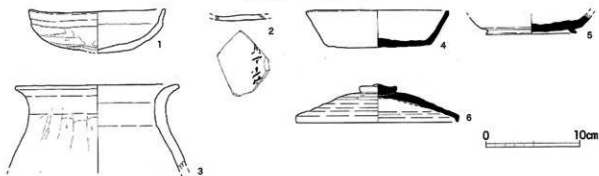
第94图 SI22出土土器 (1)



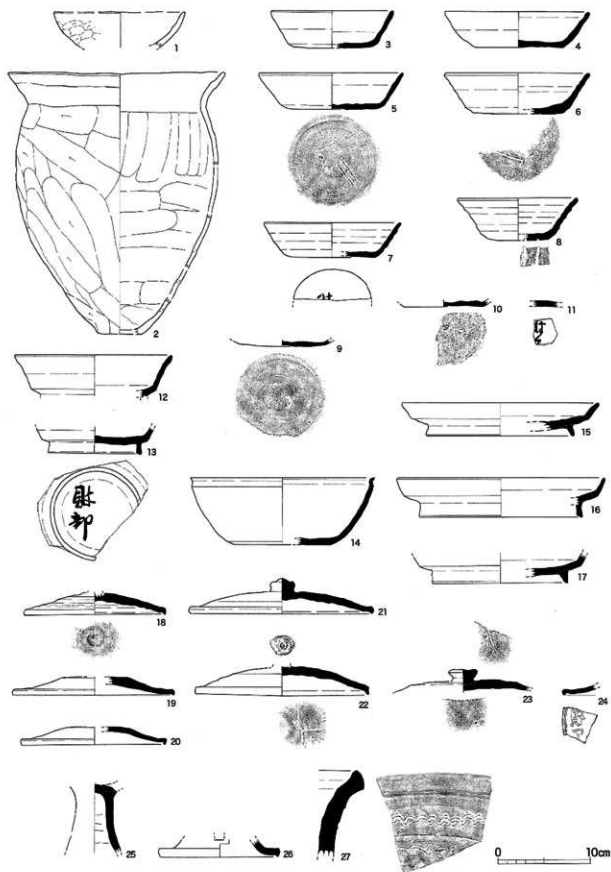
第95圖 SI22出土土器 (2)



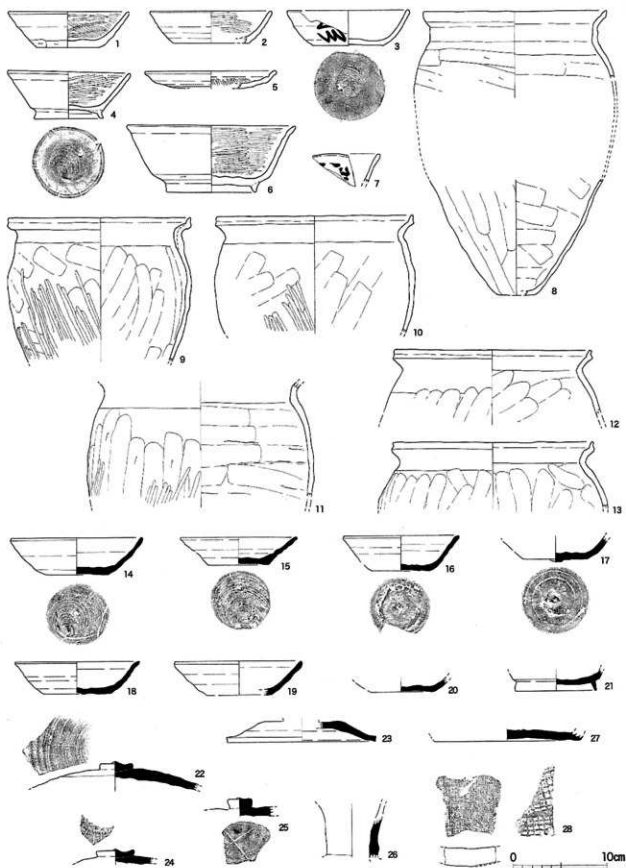
第96圖 SI23出土土器



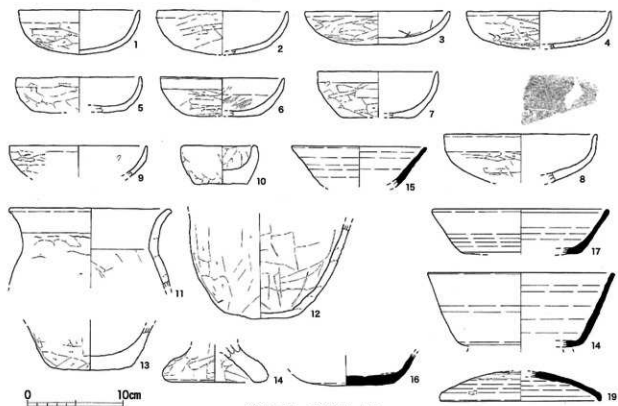
第97圖 SI30出土土器



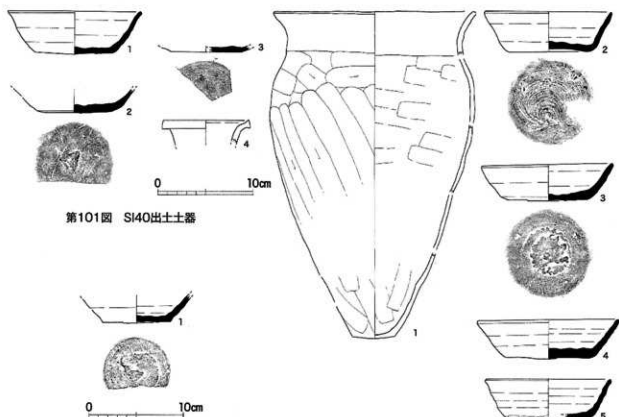
第98图 SI24出土土器



第99圖 SI25出土土器



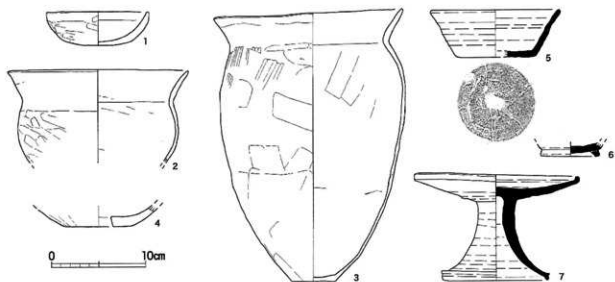
第100图 SI39出土土器



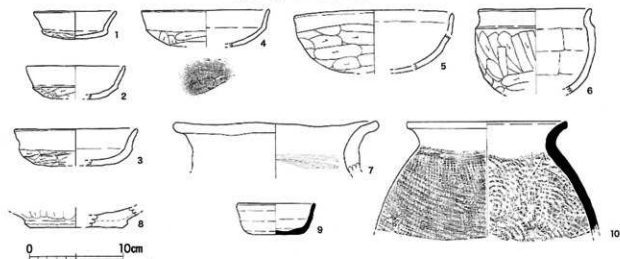
第101图 SI40出土土器

第102图 SI55出土土器

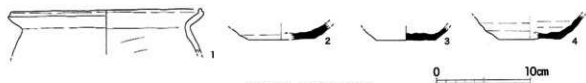
第103图 SI54出土土器



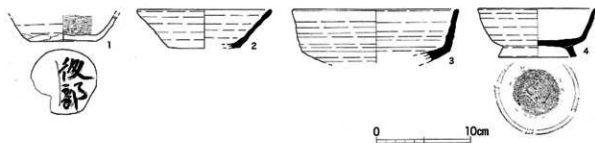
第104図 SI59出土土器



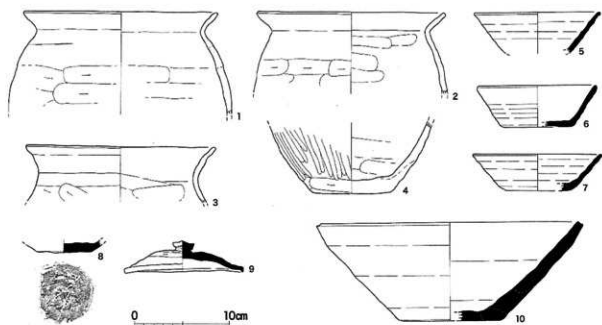
第105図 SI60出土土器



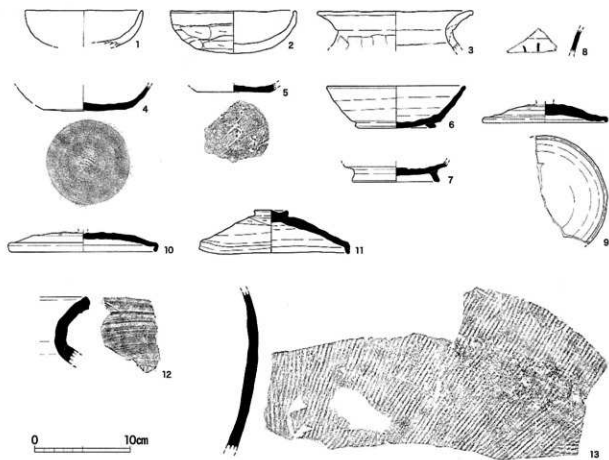
第106図 SI61出土土器



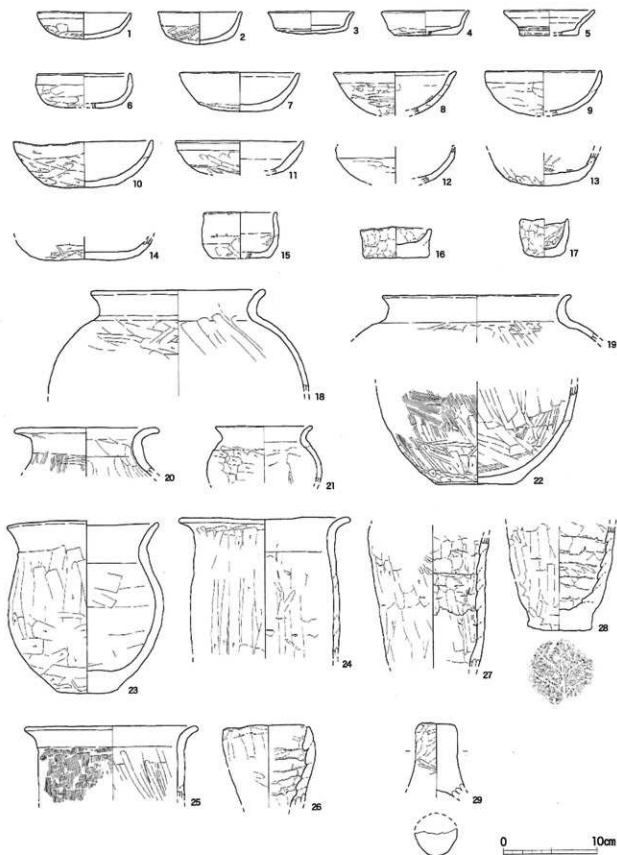
第107図 SI63出土土器



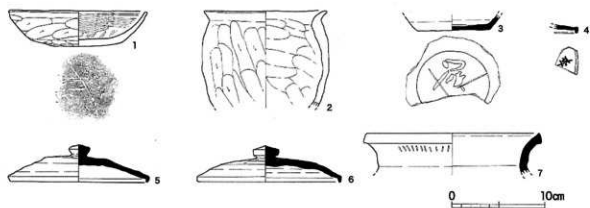
第108图 SI62出土土器



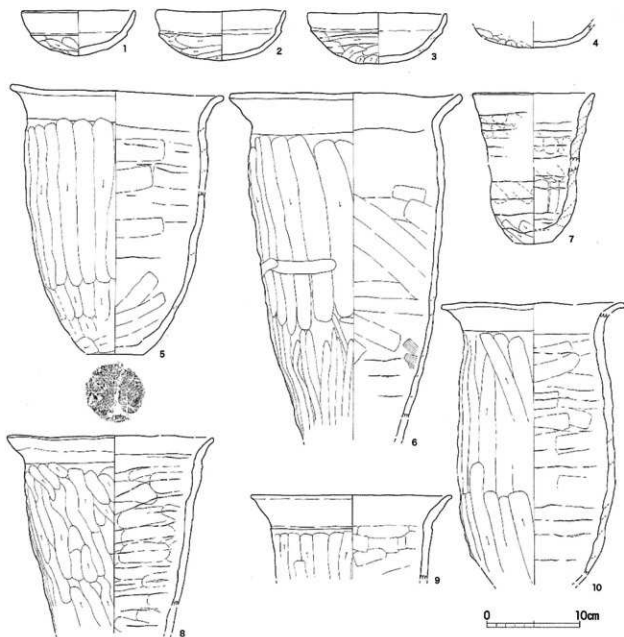
第109图 SI65出土土器



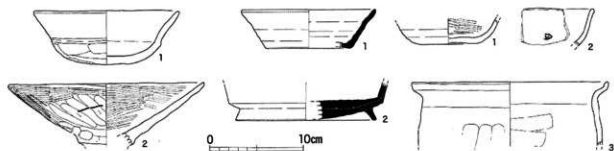
第110图 SI66出土土器



第111图 SI67出土土器



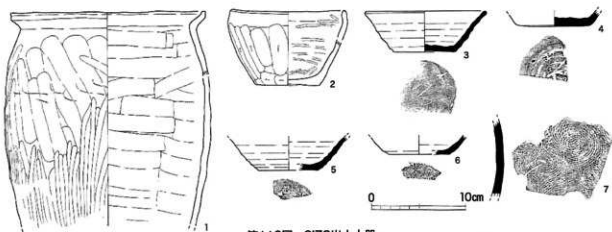
第112图 SI68出土土器



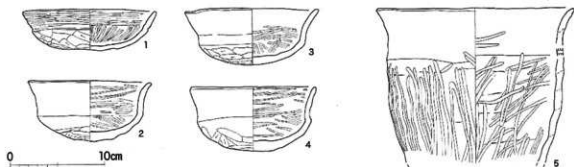
第113图 SI69出土土器

第114图 SI70出土土器

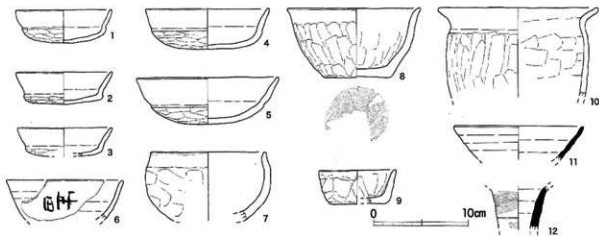
第115图 SI71出土土器



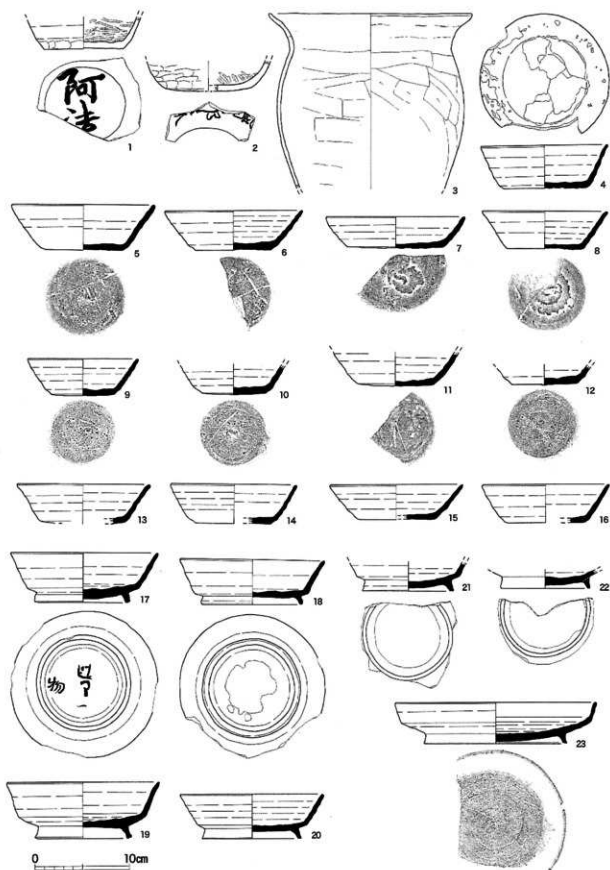
第116图 SI72出土土器



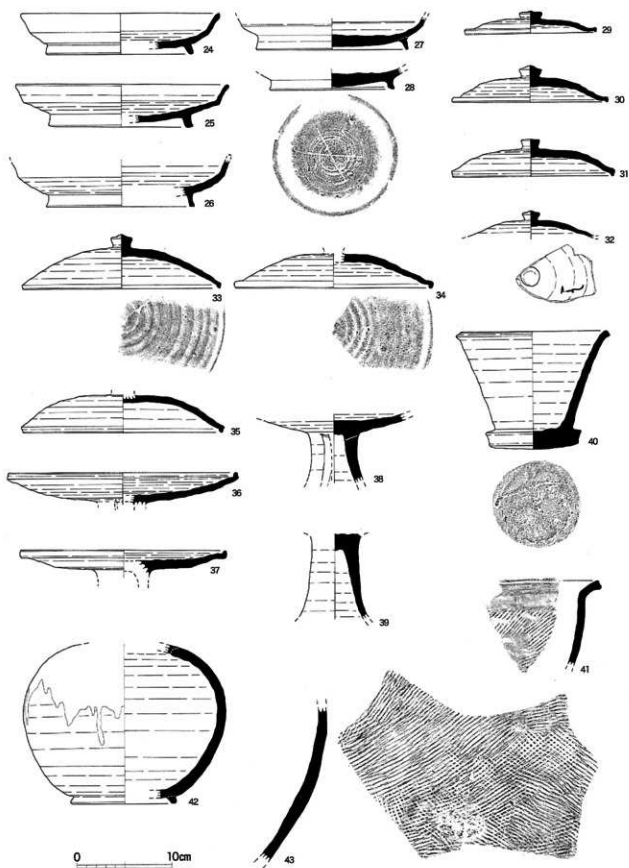
第117图 SI73出土土器



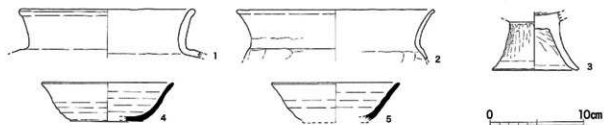
第118图 SI74出土土器



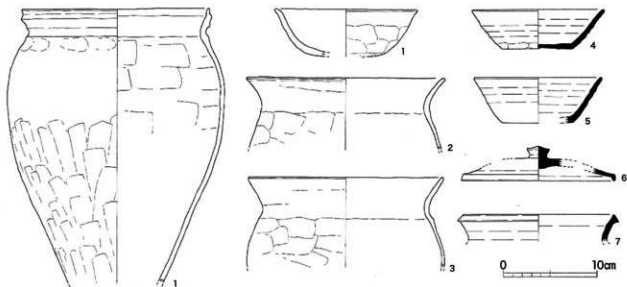
第119图 SI75出土土器 (1)



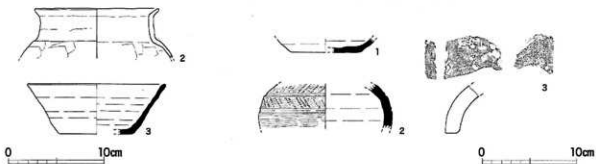
第120圖 SI75出土土器 (2)



第121图 SI81出土土器

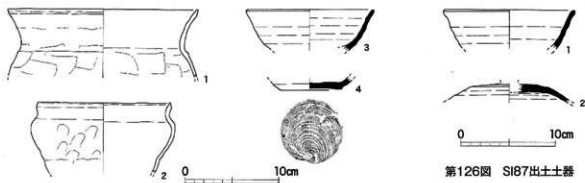


第123图 SI83出土土器



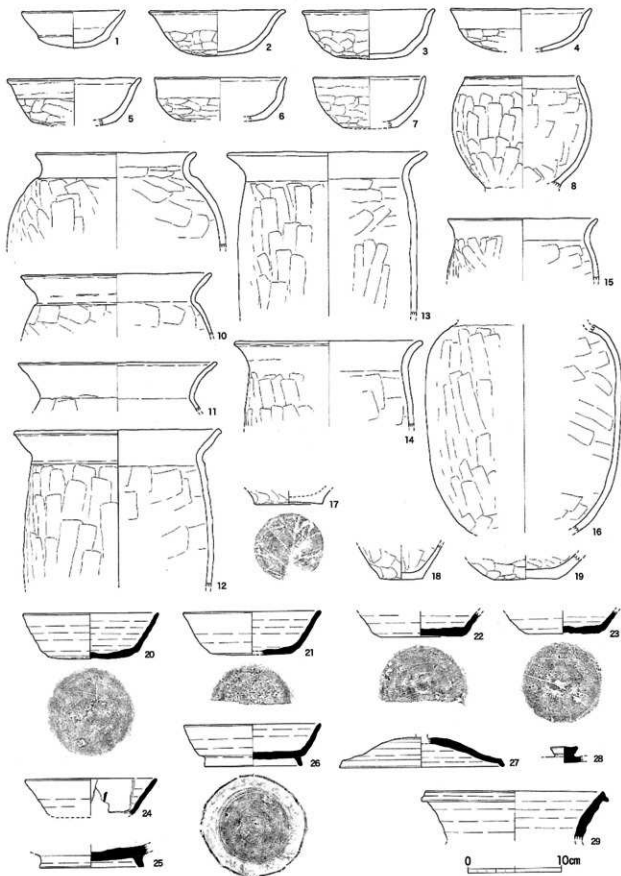
第122图 SI82出土土器

第124图 SI84出土土器

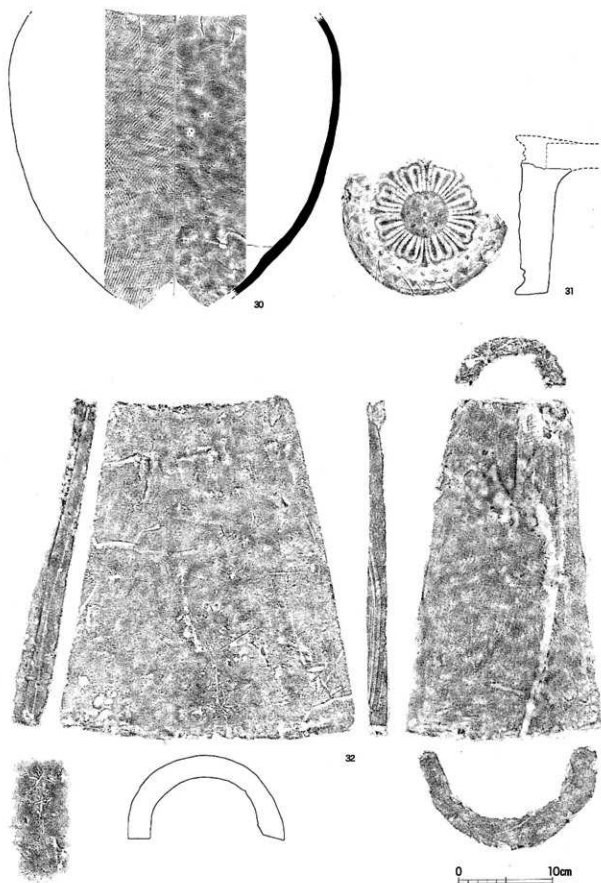


第125图 SI85出土土器

第126图 SI87出土土器



第127图 Si86出土土器 (1)



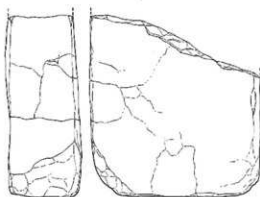
第128図 SI86出土遺物 (2)



33

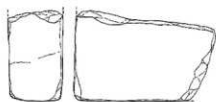


0 1:4 10cm

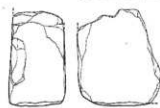


34

0 1:5 10cm

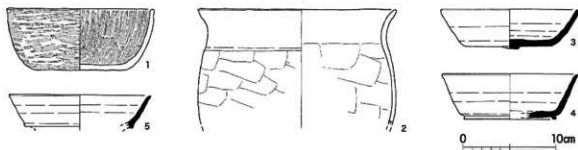


35

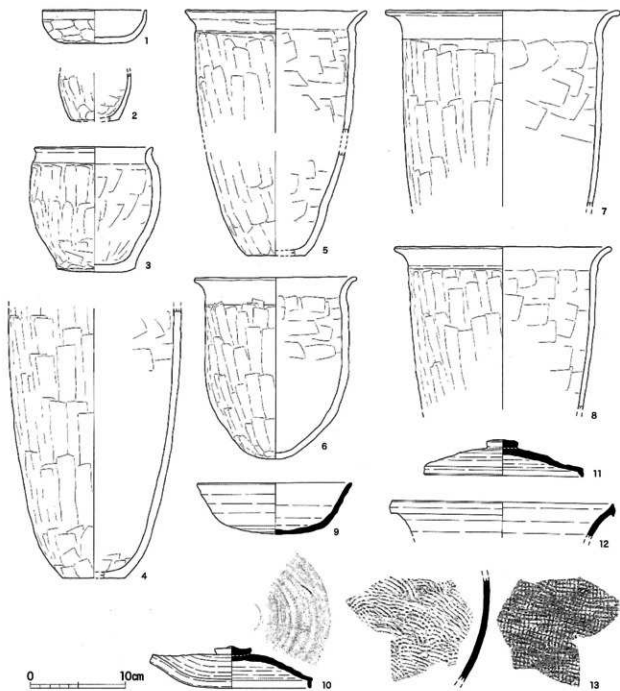


36

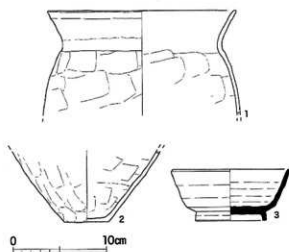
第129図 SI86出土遺物 (3)



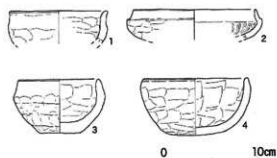
第130图 SI88出土土器



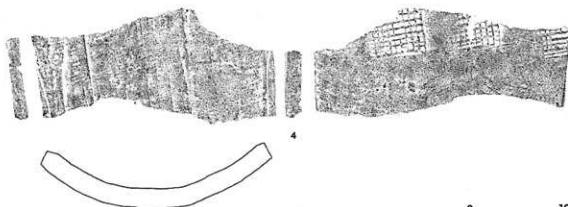
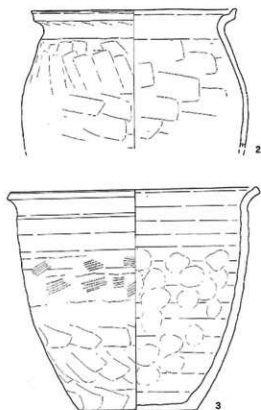
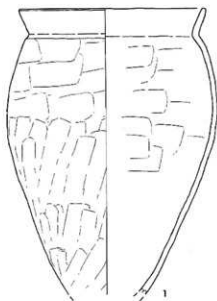
第131图 SI89出土土器



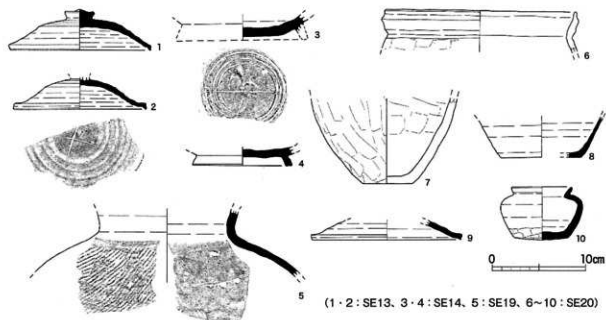
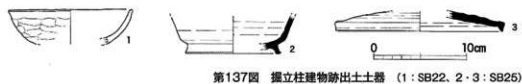
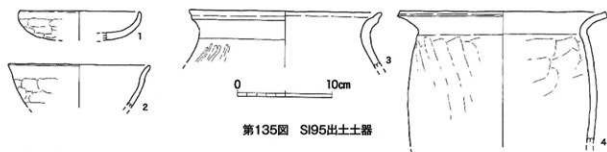
第132圖 SI92出土土器

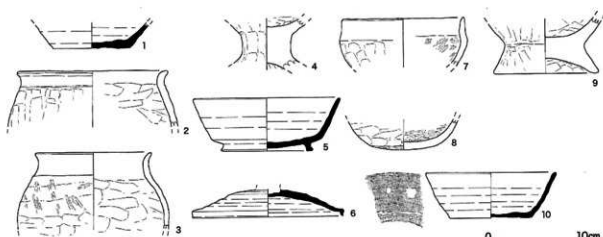


第133圖 SI93出土土器

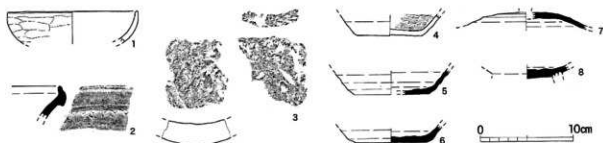


第134圖 SI94出土土器





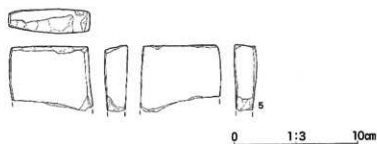
第139図 土坑出土土器
(1: SK144, 2~6: SK333, 7~10: SK334)



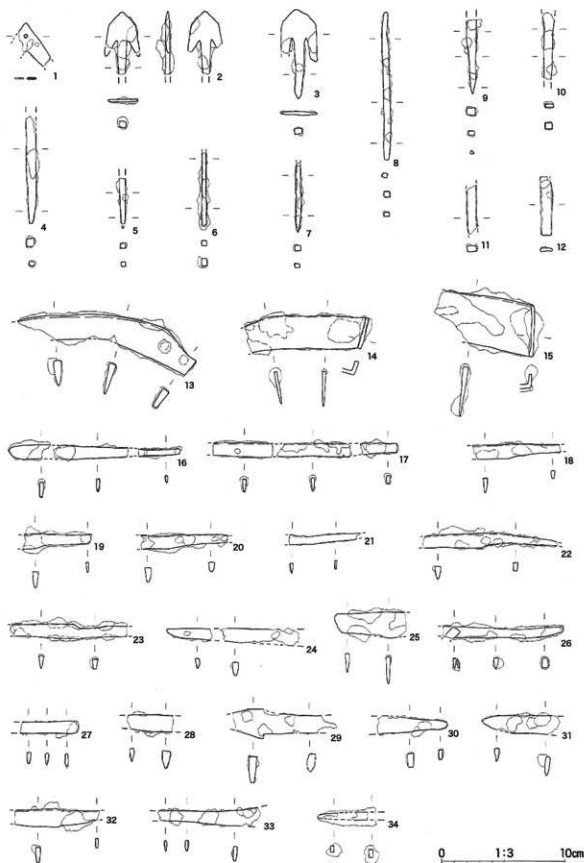
第140図 溝跡出土土器
(1: SD05, 2・3: SD40, 4~6: SD41, 7・8: SD43)



第141図 紡錘車
(1: SI54, 2: SI63)

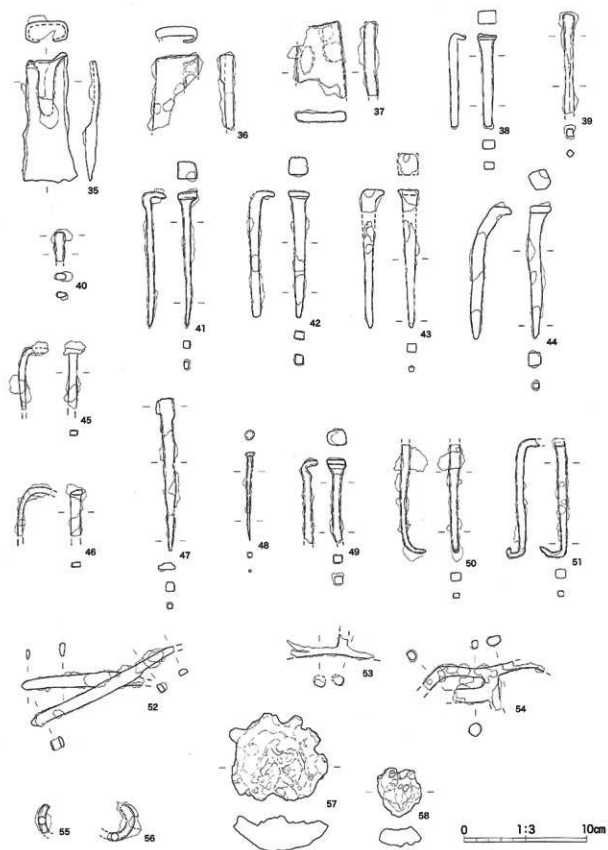


第142図 砥石
(1: SI60, 2: SI71, 3: SI86, 4: SI88, 5: SD44)



第143図 鉄製品 (1)

(1: SI39, 2・4・24: SI25, 3・11・12: SI75, 5: SI35, 6・7・26: SI54, 8・33・34: SI86, 9: SI61, 10: SI63, 13: SI71, 14・15・22・23: SI24, 16~21: SI22, 25: SI40, 27: SI56, 18~30: SI59, 31: SI66, 32: SI68)



第144図 鉄製品 (2)

(35・47・55・56・58: SI54, 36・37・39・41: SI24, 38: SI22, 40: SI67, 42~44・57: SI25, 45: SI62, 46・52: SI66, 48: SI74, 49: SI75, 50・51: SB24, 53・54: SI66)

第2表 SI15 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	13.2	4.3	—	口縁部横ナデ。底部下半ヘタ削り。 口縁部漆仕上り。	にぶい黄 (7.5YR7/3) 黒褐 (7.5YR3/1)	石英、細砂粒	良好	床面直上	5/4 残

第3表 SI16 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	12.7	3.7	—	口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。	黒褐 (7.5YR3/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	1/4 残
2	土師器杯	11.5	4.2	—	口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	赤色砂粒、白色細砂粒	良好	床面直上	1/4 残

第4表 SI17 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	12.7	3.7	—	口縁部横ナデ。底部内面漆仕上り。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中層	7/8 残
2	土師器杯	18.6	(21.9)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘタ削り。	にぶい黄 (5YR6/4)	石英、細砂粒	普通	カマ内	4/5 残

第5表 SI18 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	14.2	5.5	—	口縁部横ナデ。底部は磨耗が激しい。	黄 (2.5YR6/8)	赤色砂粒、白色微砂粒	良好	覆土中	2/5 残
3	土師器杯	—	(12.1)	(9.0)	胴部外面ヘタ削り。内面ヘタ磨き。	黄 (7.5YR7/6)	白色砂粒、赤色微砂粒	良好	覆土中	1/10 以下残

第6表 SI20 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	(15.0)	(3.8)	—	底部外面ヘタ削り。内面ヘタ磨き。	黄 (7.5YR7/6)	赤色砂粒、白色微砂粒	良好	覆土下層	1/2 残
2	土師器杯	(14.7)	4.3	—	底部外面ヘタ削り。内面漆仕上り。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中層	1/2 残
3	土師器杯	(14.8)	4.5	—	底部外面ヘタ削り。内面漆仕上り。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	4/5 残
4	土師器杯	—	(3.3)	(9.2)	胴部下半ヘタ削り。内面ヘタナデ。	黄褐色 (10YR8/3)	細砂粒	良好	床面直上	底部 1/2 残
5	土師器杯	(13.0)	(3.8)	(7.4)	口ロ成。底部ヘタ削り。	黄灰色 (2.5YR6/1)	細砂粒、白色微砂粒	普通	覆土中	1/7 残
6	土師器杯	(14.0)	5.0	(8.6)	口ロ成。底部横ナデ削り後に高台を貼付。	灰色 (N6/0)	白色砂粒	良好	床面直上	3/4 残
7	土師器杯	(13.0)	(2.3)	—	口ロ成。天井部外面にヘタ記号。	灰黄褐 (10YR5/2)	白色砂粒	良好	覆土中	1/7 残

第7表 SI21 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	(9.7)	3.4	—	口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。	灰褐 (7.5YR6/2)	石英、細砂粒	普通	床面直上	1/4 残
2	土師器杯	(10.0)	3.4	—	底部内外面黒色処理。	黒色 (7.5YR2/1)	石英、細砂粒	普通	覆土中	3/4 残
3	土師器杯	(13.2)	5.4	—	口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。	にぶい黄 (5YR6/4)	細砂粒	普通	床面直上	3/8 残
4	土師器杯	(14.7)	5.4	—	平底製。口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。内面漆仕上り。	にぶい黄褐 (10Y7/3)	微砂粒	普通	覆土上層	2/5 残
5	土師器杯	(18.0)	(12.6)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘタ削り。	黄 (2.5YR6/5)	石英、長石、細砂粒	良好	貯蔵穴内	1/5 残
6	土師器杯	(20.8)	(7.4)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘタ削り。	にぶい黄 (5YR6/4)	石英、長石、雲母等	良好	床面直上	1/4 残
7	土師器杯	(18.2)	(6.7)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘタ削り。	にぶい黄 (7.5YR7/3)	石英、細砂粒	良好	覆土下層	1/6 残
8	土師器杯	(21.7)	(10.9)	—	口縁部横ナデ。底部外面ヘタ削り。	褐色 (10YR4/1)	細砂粒、石英	良好	覆土下層	1/5 残
9	土師器杯	(20.8)	(5.4)	—	胴部外面に結核み。内面ヘタ磨き。	にぶい黄褐 (10YR7/3)	細砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	口縁部 1/3 残
10	土師器杯	—	(6.6)	(5.9)	修文。外面漆ナデ。	にぶい黄 (7.5YR5/4)	細砂粒	良好	床面直上	1/5 残
11	土師器杯	—	(2.8)	(8.2)	胴部外面に文。底部外面平直。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	微砂粒	普通	覆土中	底部 2/5 残

第8表 SI22 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	口高	底徑						
1	土師器杯	(14.9)	4.1	6.8	口ロ成。底部糸切。内面黒色処理。	にぶい黄褐 (10YR7/2)	黒色砂粒、細砂粒	良好	覆土下層	1/3 残
2	土師器杯	(13.0)	3.9	(6.8)	口ロ成。底部糸切。内面黒色処理。	灰黄色 (2.5Y7/2)	赤色砂粒、微砂粒	普通	カマ内	1/5 残
3	土師器杯	—	(3.1)	6.2	口ロ成。底部外面にヘタ削り。	黄 (7.5YR6/5)	白色砂粒、細砂粒	良好	カマ内	1/4 残
4	土師器杯	—	(1.7)	6.5	口ロ成。底部糸切。	明赤褐色 (YR5/6)	赤色砂粒	良好	覆土下層	1/3 残
5	土師器杯	—	(3.5)	—	外面ヘタ削り。	黄 (5YR6/6)	細砂粒、黒色微砂粒	良好	覆土下層	台の一部
6	土師器杯	(20.5)	(5.6)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘタ削り。	褐色 (5YR6/6)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土中	口縁部 1/4 残
7	土師器杯	(21.2)	(11.2)	—	口縁部横ナデ。胴部外面に工具痕。	にぶい黄 (7.5YR6/4)	細砂粒、雲母	良好	覆土下層	口縁部 1/5 残
8	土師器杯	(21.2)	(7.0)	—	口縁部横ナデ。胴部外面に工具痕。	にぶい黄 (7.5YR6/4)	細砂粒、雲母	良好	覆土下層	口縁部 1/3 残
9	土師器杯	(23.3)	(8.4)	—	口縁部横ナデ。胴部外面に工具痕。	にぶい黄褐 (10YR6/4)	細砂粒、雲母	良好	カマ内	口縁部 1/3 残
10	土師器杯	(20.3)	(8.6)	—	口縁部横ナデ。胴部外面に工具痕。	にぶい黄褐 (10YR5/3)	白色砂粒、雲母	良好	覆土中	口縁部 1/4 残
11	土師器杯	(23.6)	(21.5)	—	口縁部横ナデ。胴部外面に工具痕。胴部下半ヘタ磨き。胴部内面に削り上り。	にぶい黄 (7.5YR6/4)	白色砂粒、雲母	良好	覆土中層	2/5 残

No.	種類	寸法 (cm)			形状と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
12	土師器鉢	—	(5.4)	7.7	胴部外面へラナシ。底部外面に木炭痕。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	白色砂粒、雲母	良好	カマド内	11の底部か
13	須恵器杯	(12.0)	3.7	7.8	口クロ成。底部余切り。	灰白色 (2.5Y7/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	3/5 残
14	須恵器杯	(14.0)	3.8	6.4	口クロ成。底部余切り。	灰白色 (2.5Y8/1)	黒色砂粒、細砂粒	良好	甕土中層	1/2 残
15	須恵器杯	(13.0)	4.5	6.8	口クロ成。底部へラナシ。	灰色 (10Y3/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	甕土中	1/3 残
16	須恵器杯	(14.0)	4.7	7.2	口クロ成。底部へラナシ。	灰黄色 (2.5Y7/2)	白色砂粒、細砂粒	良好	甕土中	1/4 残
17	須恵器杯	(12.0)	4.5	6.0	口クロ成。底部余切り。	灰色 (5Y5/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	甕土中	3/4 残
18	須恵器杯	(12.2)	4.0	7.4	口クロ成。底部へラナシ。全面及び底部下縁を平手持ちへラナシ。	灰色 (N5)	白色砂粒、微砂粒	良好	甕土中	1/5 残
19	須恵器杯	(12.6)	4.4	(6.4)	口クロ成。底部へラナシ。全面及び底部下縁を平手持ちへラナシ。	灰色 (5Y6/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	甕土中層	1/4 残
20	須恵器杯	(13.2)	4.4	(7.0)	口クロ成。底部へラナシ。全面及び底部下縁を平手持ちへラナシ。	灰色 (N5)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	甕土中層	1/5 残
21	須恵器杯	13.2	4.5	7.5	口クロ成。底部へラナシ。底部外面にへラ記号。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	白色砂粒、細砂粒	普通	甕土下層	ほぼ完形
22	須恵器杯	14.2	4.6	7.0	口クロ成。底部へラナシ。底部外面にへラ記号。	灰黄色 (2.5Y7/2)	白色砂粒、細砂粒	良好	甕土中	1/4 残
23	須恵器杯	(14.0)	4.6	6.8	口クロ成。底部へラナシ。底部外面にへラ記号。	灰 (N5)	白色砂粒、細砂粒	良好	甕土下層	1/2 残
24	須恵器杯	(14.0)	4.1	7.6	口クロ成。底部へラナシ。底部外面にへラ記号。	オリーブ灰 (2.5GY5/1)	白色砂粒	良好	床面直上	1/3 残
25	須恵器高台付杯	(14.0)	4.6	—	口クロ成。底部外面回転へラナシ。高台貼付。	灰白色 (2.5Y6/1)	白色砂粒、雲母	良好	甕土下層	1/3 残
26	須恵器高台付杯	—	3.6	—	口クロ成。底部外面回転へラナシ。高台貼付。	灰白色 (2.5Y7/1)	白色砂粒、粗砂粒	良好	甕土中	底部破片
27	須恵器高台付杯	—	2.6	(8.4)	口クロ成。底部外面回転へラナシ。高台貼付。	青灰色 (10BG5/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	カマド内	高台部
28	須恵器高台付杯	(22.0)	(3.6)	—	口クロ成。底部外面回転へラナシ。高台貼付。	暗青灰色 (5P9/4)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	1/4 残
29	須恵器高台付杯	—	(2.2)	—	口クロ成。天井面回転へラナシ。ソマシ。	暗青灰色 (5BG4/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	1/3 残
30	須恵器高台付杯	—	(5.8)	—	口クロ成。縦位 (二方向) のスカシ。	青灰色 (5PB5/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	甕土中	底部破片
31	須恵器高台付杯	—	(4.3)	—	口クロ成。胴部中央に穴を穿した痕跡。この外側に指痕を取り付けた痕跡。	灰オリーブ (5Y6/2)	細砂、微砂粒	良好	甕土中	胴上部破片
32	須恵器高台付杯	—	(6.1)	—	口クロ成。口縁外面に複数段の唇状痕跡。	黒褐色 (10YR3/1)	白色細砂粒	良好	甕土中	口縁破片
33	須恵器高台付杯	—	(7.8)	(22.0)	胴部外面平行タタキ。底部外面へラナシ。	灰白色 (2.5Y5/1)	白色細砂粒	良好	甕土中層	底部片
35	灰釉内縁長方形	—	(14.5)	12.1	口クロ成。胴部下半部回転へラナシ。底部外面回転へラナシ。高台貼付。	灰色 (5Y7/1)	細砂	良好	甕土中層	1/6 残
36	平瓦	長: (7.7) 幅: (5.2) 厚: 2.1	—	—	凹面に布目痕。	灰色 (5Y5/1)	白色砂粒、黒色砂粒	普通	甕土中	端部片

第9表 SI23 出土土器観察表

No.	種類	寸法 (cm)			形状と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器杯	(11.8)	3.3	—	口縁部破ナシ。底部外面へラナシ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	良好	甕土中層	1/6 残
2	土師器杯	(12.4)	3.9	—	口縁部破ナシ。底部外面へラナシ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	普通	甕土中	1/7 残
3	土師器杯	(21.6)	7.6	—	口縁部破ナシ。胴部外面へラナシ。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	石炭、粗砂粒	普通	甕土中	1/8 残
4	須恵器杯	13.9	3.8	7.0	口クロ成。底部へラナシ。へラ記号あり。	黄灰色 (2.5Y5/1)	細砂粒	良好	甕土中層	1/2 残
5	須恵器杯	—	—	—	口クロ成。胴部外面回転へラナシ。底部外面にへラ記号あり。	灰色 (5Y5/1)	長石、白色砂粒	良好	甕土中	底部片
6	須恵器高台付杯	—	(2.0)	8.2	口クロ成。胴部回転へラナシ。高台貼付。	灰色 (5Y6/1)	白色砂粒、小砂粒	良好	甕土上層	1/2 残
7	須恵器高台付杯	—	(4.5)	—	口クロ成。長方形スカシの痕跡。	黄灰色 (2.5Y5/1)	細砂粒	良好	甕土中	胴部片
8	須恵器杯	(24.4)	(4.9)	—	口クロ成。	灰色 (7.5Y5/1)	白色砂粒	良好	甕土中	1/10 残

第10表 SI24 出土土器観察表

No.	種類	寸法 (cm)			形状と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器杯	(13.7)	(3.8)	—	口縁部破ナシ。底部外面へラナシ。	にぶい褐色 (5YR6/4)	微砂粒	普通	甕土中	1/10 残
2	土師器杯	22.7	27.6	4.7	口縁部破ナシ。胴部及び底部外面へラナシ。胴部外面へラナシ。	明るい赤褐色 (2.5YR5/6)	石英、長石、細砂粒	普通	カマド内	ほぼ完形
3	須恵器杯	(12.3)	3.9	(8.0)	口クロ成。底部切リ直し後、回転へラナシ。	灰色 (7.5Y5/1)	白色微砂粒	良好	カマド内	2/5 残
4	須恵器杯	15.1	4.8	9.3	口クロ成。底部切リ直し後、回転へラナシ。	灰色 (5Y6/1)	石英、長石、細砂粒	良好	床面直上	4/5 残
5	須恵器杯	15.0	3.8	9.0	口クロ成。底部余切り後、胴部回転へラナシ。底部外面にへラ記号。	灰色 (5Y6/1)	細砂粒	良好	甕土下層	ほぼ完形
6	須恵器杯	15.2	4.3	9.0	口クロ成。底部切リ直し後、回転へラナシ。底部外面にへラ記号。	褐色 (5YR7/6)	石英、長石、細砂粒	不良	甕土下層	1/2 残
7	須恵器杯	(14.5)	3.7	(8.7)	口クロ成。底部切リ直し後、回転へラナシ。底部外面にへラ記号。	灰色 (5Y6/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	甕土下層	1/3 残
8	須恵器杯	(12.7)	4.5	6.4	口クロ成。底部切リ直し後、回転へラナシ。	灰白色 (5Y7/1)	細砂粒	普通	甕土中	1/8 残
9	須恵器杯	—	—	—	口クロ成。底部余切り後、胴部回転へラナシ。	黄灰色 (2.5Y6/1)	白色砂粒	良好	甕土下層	底部片

No.	部材	法量 (cm)			形状と調査の特徴	色調	地土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
10	須置器環	—	—	(8.4)	ロクロ成形。底部へラ切り。底部外面にへラ記号。	にぶい靑 (7.5YR6/4)	白色砂粒、微砂粒	不良	覆土中	底部片
11	須置器環	—	—	—	ロクロ成形。底部糸切り。外面に黒書「財」マミ。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	緻密	良好	覆土中	底部片
12	須置器高台付環	(16.4)	(4.4)	(11.0)	ロクロ成形。貼り付け高台の痕跡。	灰色 (10Y5/1)	白色砂粒	良好	覆土中	1/10 残
13	須置器高台付環	—	—	9.8	ロクロ成形。底部糸切り。回転へラ削り後に黒台貼付。底部外面に黒書「財」マミ。	灰色 (5Y6/2)	微砂粒	良好	床面直上	高台部片
14	須置器環	(19.4)	7.0	(10.2)	ロクロ成形。底部切り離し後、回転へラ削り。	灰白色 (7.5Y7/1)	細砂粒	良好	覆土中	1/3 残
15	須置器高台付環	(20.9)	3.4	(15.9)	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。	灰色 (5Y5/1)	細砂粒	良好	覆土中	1/10 残
16	須置器高台付環	(22.2)	4.1	(17.5)	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。	灰色 (5Y6/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	覆土中	1/10 残
17	須置器高台付環	—	(3.2)	(14.5)	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。	灰色 (N5/)	細砂粒	良好	覆土中	1/9 残
18	須置器蓋	14.7	(2.4)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。天井部内面にへラ記号。	灰色 (7.5Y6/1)	細砂粒	良好	覆土中層	3/4 残
19	須置器蓋	(16.3)	(1.9)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。	灰色 (10Y5/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	覆土中	1/4 残
20	須置器蓋	(15.1)	(1.9)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。	灰色 (7.5Y5/1)	細砂粒	良好	覆土中層	1/4 残
21	須置器蓋	(19.2)	3.7	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後、ツマミ貼付。	灰白色 (5Y8/1)	細砂粒	普通	覆土中層	1/4 残
22	須置器蓋	18.1	3.1	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。天井部内面にへラ記号。	灰黄色 (2.5Y7/2)	細砂粒、粗砂粒	不良	床面直上	4/5 残
23	須置器蓋	—	(2.4)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後、ツマミ貼付。天井部内面にへラ記号。	灰色 (10Y6/1)	細砂粒	良好	覆土中層	1/6 残
24	須置器蓋	—	—	—	ロクロ成形。口縁部。内面に黒書「財」マミ。	灰色 (5Y5/1)	微砂粒	良好	覆土中層	口縁部片
25	須置器高台付環	—	(7.3)	—	ロクロ成形。円筒形の胴部。	灰色 (7.5Y4/1)	白色砂粒	普通	覆土中層	胴部片
26	須置器高台付環	—	—	(12.6)	ロクロ成形。胴部の裾部。長方形スカシの痕跡。	灰色 (7.5Y5/1)	細砂粒	良好	カマド	胴部片
27	須置器蓋	—	—	—	ロクロ成形。口縁部外面に複数段の縞模様状。	灰色 (N4/)	細砂粒	良好	床面直上	口縁部片

第 11 表 SI25 出土土器観察表

No.	部材	法量 (cm)			形状と調査の特徴	色調	地土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器環	12.6	3.8	6.6	ロクロ成形。底部外面及び底部下縁を手持ちへラ削り。内面へラ磨き黒色処理。	明赤褐色 (5YR5/6)	石炭、長石、細砂粒	普通	カマド 2 内	ほぼ完形
2	土師器環	(12.6)	3.4	(8.0)	ロクロ成形。底部外面へラ削り。内面黒色処理。	にぶい靑 (7.5YR6/4)	緻密	良好	覆土中	1/10 残
3	土師器環	(12.8)	3.7	7.4	ロクロ成形。底部糸切り後、肩線部を持ちへラ削り。内面黒色処理。底部外面に黒書。	靑 (5YR6/6)	微砂粒	良好	覆土中層	1/2 残
4	土師器高台付環	12.9	4.9	7.3	ロクロ成形。底部糸切り後、高台貼付。内面へラ磨き黒色処理。	明赤褐色 (5YR5/6)	石炭、長石、細砂粒	普通	カマド 2 内	3/5 残
5	土師器皿	(13.8)	(1.8)	—	ロクロ成形。底部外面回転へラ削り。内面黒色処理。蓋の可能性もあり。	靑色 (5YR6/6)	石炭、金雲母、赤色砂粒	良好	覆土中	1/9 残
6	土師器高台付環	17.8	7.1	9.5	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。内面へラ磨き黒色処理。	にぶい靑色 (7.5YR7/4)	石炭、長石、微砂粒	普通	覆土中層	7/8 残
7	土師器環	—	—	—	ロクロ成形。内面黒色処理。口縁部外面に黒書。	靑色 (7.5YR6/6)	微砂粒	良好	覆土中層	口縁部片
8	土師器蓋	(19.6)	(30.8)	(4.0)	口縁部破損ナズ。胴部外面へラ削り。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石炭、長石、金雲母	良好	カマド 2 内	1/4 残
9	土師器蓋	(19.2)	(15.3)	—	口縁部破損ナズ。胴部外面下半部粗いへラ磨き。	にぶい黄褐色 (10YR6/4)	石炭、長石、金雲母	良好	覆土中層	1/5 残
10	土師器蓋	(21.0)	(12.3)	—	口縁部破損ナズ。胴部外面下半部粗いへラ磨き。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石炭、長石、金雲母	普通	カマド 2 内	1/7 残
11	土師器蓋	—	(13.2)	—	口縁部破損ナズ。胴部外面下半部粗いへラ磨き。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石炭、長石、雲母	良好	覆土中	1/4 残
12	土師器蓋	(21.0)	(7.8)	—	口縁部破損ナズ。胴部外面へラ削り。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	石炭、長石、金雲母	良好	床面直上	1/8 残
13	土師器蓋	(21.3)	(7.0)	—	口縁部破損ナズ。胴部外面へラ削り。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石炭、長石、金雲母	良好	覆土中層	1/4 残
14	須置器環	13.8	3.9	6.4	ロクロ成形。底部糸切り。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	細砂粒若干	不良	覆土中層	3/4 残
15	須置器環	12.4	2.9	6.4	ロクロ成形。底部糸切り。	灰白色 (5Y7/1)	細砂粒若干	良好	カマド 2 内	3/5 残
16	須置器環	(12.4)	3.7	6.0	ロクロ成形。底部へラ削り。	灰色 (7.5Y5/1)	細砂粒若干	良好	覆土中層	1/2 残
17	須置器環	—	(2.7)	6.8	ロクロ成形。底部へラ削り。	灰黄色 (2.5Y6/1)	細砂粒若干	良好	覆土中層	1/2 残
18	須置器環	13.2	3.4	7.4	ロクロ成形。底部へラ削り後、全面を持ちへラ削り。	灰色 (10Y4/1)	細砂粒	良好	覆土中層	1/2 残
19	須置器環	(13.4)	3.6	(6.7)	ロクロ成形。底部糸切り。	灰色 (2.5Y5/1)	微砂粒	良好	カマド内	1/4 残
20	須置器環	—	(1.5)	6.4	ロクロ成形。底部糸切り。	灰色 (5Y5/1)	微砂粒	良好	覆土中層	2/5 残
21	須置器高台付環	—	(2.3)	8.6	ロクロ成形。底部回転へラ削り後に高台を貼付。	黄灰色 (2.5Y6/1)	微砂粒	良好	覆土中	1/2 残
22	須置器蓋	—	(3.2)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後、ツマミ貼付。	灰色 (N5/)	白色砂粒	良好	覆土中	1/4 残
23	須置器蓋	(15.4)	(2.2)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後。	灰色 (7.5Y5/1)	白色砂粒	良好	覆土中層	1/5 残
24	須置器蓋	—	(1.6)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後、ツマミ貼付。	灰色 (N4/)	微砂粒	良好	カマド 2 内	天井部片

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
25	須恵器蓋	—	(2.0)	—	ロクロ成形。天井部回転へう割り後、ツマミ貼付。天井部内部にへう記号「X」。	灰色 (5Y6/1)	微砂粒	普通	覆土中	天井部片
26	須恵器長 頸瓶	—	(5.7)	—	ロクロ成形。底部下平の破片。	灰色 (5Y5/1)	白色砂粒	良好	覆土中層	頸部 1/2 残
27	須恵器蓋	—	—	15.5	底部のみ。外面周縁部へう割り。	灰色 (10Y5/1)	石灰、長石	普通	覆土中層	底部片
28	平瓦	長: (7.2) 幅: (6.9) 厚: 2.0	—	—	両面に布目、凸面に格子状布目。	暗灰色 (5N3)	石灰、長石	普通	床面直上	—

第 12 表 Si30 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	14.0	4.6	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	赤色砂粒	良好	床面直上	7/8 残
2	土師器環	—	—	—	底部片。外面へう割り。内面へう磨き。外面に黒塗「型マロ」。	赤褐色 (2.5YR4/8)	微砂粒	良好	覆土下層	底部小片
3	土師器蓋	(17.2)	(9.3)	—	口縁部破ナズ。胴部外面へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	黒色砂粒、赤色砂粒	良好	床面直上	口縁部片
4	須恵器環	14.9	4.1	10.8	ロクロ成形。底部外面持ちへう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	赤色砂粒	良好	覆土上層	ほぼ完形
5	須恵器高 台付杯	—	(2.2)	9.6	ロクロ成形。底部回転へう割り後高台貼付。	灰白色 (5Y8/1)	白色砂粒	良好	覆土中層	底部 3/4 残
6	須恵器蓋	(17.0)	4.1	—	ロクロ成形。天井部回転へう割り後にツマミ貼付。	灰白色 (5Y7/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	覆土中層	1/3 残

第 13 表 Si39 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	12.6	4.7	—	口縁部破ナズ。体部外面へう割り。	褐色 (5YR7/8)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	カマド内	1/2 残
2	土師器環	(13.6)	(4.6)	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	褐色 (5YR6/6)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	床面直上	1/4 残
3	土師器環	(15.2)	3.6	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	褐色 (5YR7/6)	微砂粒	良好	覆土下層	2/5 残
4	土師器環	(15.1)	4.0	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	床面直上	1/4 残
5	土師器環	(13.2)	3.8	(10.2)	ほぼ平底。体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	浅黄褐色 (7.5YR8/4)	赤色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	2/5 残
6	土師器環	(13.0)	4.1	(7.0)	平底。体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	白色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/6 残
7	土師器環	(12.6)	4.9	(8.0)	平底。体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	褐色 (7.5YR7/6)	赤色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/4 残
8	土師器環	(16.0)	(5.2)	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	にぶい黄 (7.5YR7/4)	赤色砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	1/5 残
9	土師器環	(14.4)	(3.3)	—	体部外面へう割り。内面磨仕上げ。	にぶい黄 (7.5YR6/4)	微砂粒	良好	覆土中層	1/5 残
10	手ねじ土 器	8.0	4.1	5.8	底部外面へう割り。	褐色 (5YR7/6)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	ほぼ完形
11	土師器環	(17.0)	(8.4)	—	口縁部破ナズ。胴部外面へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR6/3)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	覆土中層	1/6 残
12	土師器環	—	(11.2)	7.5	胴部外面へう割り。内面へうナズ。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	赤色砂粒	良好	床面直上	胴部下半
13	土師器蓋	—	—	8.5	胴部から底部外面へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	微砂粒	良好	床面直上	底部片
14	土師器台 付足	—	—	11.0	外面へう割り。内面へうナズ。	赤褐色 (2.5YR4/6)	粗砂粒若干	良好	床面直上	台部片
15	須恵器環	(14.2)	(4.3)	—	ロクロ成形。	灰黄色 (2.5Y7/2)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	床面直上	1/5 残
16	須恵器環	—	(2.2)	9.0	ロクロ成形。底部外面回転へう割り。	灰白色 (5Y7/1)	白色砂粒、黒色砂粒	普通	覆土下層	1/4 残
17	須恵器環	(18.0)	(4.6)	(12.6)	ロクロ成形。底部外面回転へう割り。	黄灰色 (2.5Y5/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土中層	1/8 残
18	須恵器高 台付杯	(19.6)	(8.0)	—	ロクロ成形。高台部欠損。	黄灰色 (2.5Y4/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	1/8 残
19	須恵器蓋	(17.0)	(3.1)	—	ロクロ成形。天井部外面回転へう割り。	灰色 (5N5/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土中層	1/4 残

第 14 表 Si40 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	須恵器環	14.1	4.5	8.0	ロクロ成形。底部へう割り。	灰色 (5Y6/1)	石灰、長石	良好	覆土上層	1/3 残
2	須恵器環	—	(2.5)	8.0	ロクロ成形。底部へう割り。底部外面にへう記号。	灰色 (10Y6/1)	微砂粒	良好	床面直上	3/4 残
3	須恵器環	—	—	(7.4)	ロクロ成形。底部外面回転へう割り。へう記号。	灰色 (10Y5/1)	微砂粒	良好	覆土中	底部片
4	灰釉陶器 長頸瓶	(9.0)	—	—	ロクロ成形。	灰黄褐色 (10YR4/2)	微砂	良好	覆土下層	口縁部片

第 15 表 Si54 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	(21.0)	34.5	4.4	口縁部破ナズ。胴部から底部外面へう割り。内面へうナズ。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石灰、長石、金雲母	良好	覆土下層	1/2 残
2	須恵器環	13.5	4.4	8.6	ロクロ成形。底部余切り。	灰色 (7.5Y6/1)	微砂粒	良好	床面直上	3/4 残
3	須恵器環	14.0	3.8	8.5	ロクロ成形。底部へう割り。	灰色 (7.5Y5/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	ほぼ完形
4	須恵器環	15.0	4.1	9.3	ロクロ成形。底部へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	白色砂粒、微砂粒	不良	床面直上	ほぼ完形
5	須恵器環	(13.4)	4.2	(8.4)	ロクロ成形。底部外面持ちへう割り。	灰色 (5Y4)	白色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/4 残

第 16 表 SI55 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	須恵器環	—	(3.0)	7.0	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	白色砂粒、細砂粒	不良	覆土中	3/5 残

第 17 表 SI59 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	(10.0)	3.6	—	口縁部横ナデ。体部から底部外面ヘラ削り。	黄褐色 (10YR7/3)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	カマド	1/4 残
2	土師器環	(19.0)	(9.8)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り。台付痕。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	黒色砂粒、微砂粒	普通	覆土下層	1/6 残
3	土師器環	(20.0)	28.8	4.6	口縁部横ナデ。胴部及び底部外面ヘラ削り。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	黒色砂粒、微砂粒	良好	カマド内	4/5 残
4	土師器環	—	—	7.4	外面ヘラ削り。底部に直径 3.2cm の円孔。	黄褐色 (10YR7/3)	赤色砂粒、白色砂粒	良好	覆土中	底部片
5	須恵器環	(13.8)	5.0	8.6	ロクロ成形。底部ヘラ切り後、ナデ。	灰色 (10Y5/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/2 残
6	須恵器高台付環	—	—	8.2	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後、黄台付。	灰色 (N5/1)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土中層	底部片
7	須恵器高台付環	17.4	11.5	11.3	ロクロ成形。呼部と脚部を接合。	灰色 (N5/1)	白色砂粒	良好	覆土中層	7/8 残

第 18 表 SI60 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	8.7	3.0	—	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面磨き上げ。	褐色 (7.5YR6/3)	微砂粒	良好	覆土下層	ほぼ完形
2	土師器環	(10.4)	3.5	—	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面磨き上げ。	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	石英、長石	良好	覆土中層	2/5 残
3	土師器環	(13.1)	2.9	—	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面磨き上げ。	にぶい褐色 (7.5YR6/3)	石英、長石	普通	覆土中層	1/2 残
4	土師器環	(13.6)	(3.9)	—	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	褐色 (5YR6/6)	微砂粒	良好	A	1/6 残
5	土師器環	17.0	6.7	—	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR6/3)	石英、長石	普通	床面直上	3/4 残
6	土師器鉢	(12.2)	(9.0)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ削り。	黒色 (10YR2/1)	石英、微砂粒	良好	覆土下層	1/4 残
7	土師器鉢	(21.6)	—	—	口縁部横ナデ。胴部内面にハケ目。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	石英、長石	良好	覆土中層	口縁部片
8	土師器鉢	—	—	(10.8)	底部外面ヘラ削り。	赤褐色 (5YR4/6)	石英、長石	普通	覆土下層	底部片
9	須恵器環	8.2	3.3	4.8	ロクロ成形。底部ヘラ切り後、軽ナデ。底部外面から体部にタダスギ。	灰色 (7.5Y4/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中層	完形
10	須恵器鉢	(17.1)	(12.2)	—	口縁部横ナデ。胴部外面平行タダスギ後にハケ目調整。内面は同心円文。	灰白色 (7.5Y8/1)	微砂粒	普通	覆土中層	2/5 残

第 19 表 SI61 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器鉢	(20.2)	—	—	口縁部横ナデ。口唇部ツマミ上げ。	にぶい褐色 (5YR6/4)	石英、長石	普通	覆土下層	1/8 残
2	須恵器環	—	—	(7.0)	ロクロ成形。底部糸切り。	黄褐色 (2.5Y6/1)	微砂粒	不良	覆土下層	底部片
3	須恵器環	—	—	(6.4)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (5Y5/1)	細砂粒	良好	覆土上層	底部片
4	須恵器環	—	—	(6.6)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (7.5Y4/1)	細砂粒	良好	覆土上層	底部片

第 20 表 SI62 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器鉢	(20.4)	(10.8)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ削り。	にぶい褐色 (5YR6/4)	石英、長石、細砂粒	普通	覆土下層	1/5 残
2	土師器鉢	(20.2)	(8.5)	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	石英、長石、細砂粒	良好	カマド内	1/4 残
3	土師器鉢	20.0	—	—	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	石英、長石、微砂粒	普通	カマド内	口縁 4/5 残
4	土師器鉢	—	(7.5)	8.1	胴部外面ヘラ削り。底部外面ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	石英、長石、細砂粒	良好	覆土下層	底部 1/2 残
5	須恵器鉢	(13.8)	3.9	(6.8)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (N4/4)	微砂粒	良好	覆土中	1/4 残
6	須恵器鉢	(12.8)	4.3	(7.2)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (N5/5)	微砂粒	良好	覆土下層	1/3 残
7	須恵器鉢	(13.4)	(4.3)	(6.8)	ロクロ成形。底部欠損。	灰色 (10Y4/1)	細砂粒	良好	覆土下層	1/3 残
8	須恵器鉢	—	—	6.0	ロクロ成形。底部ヘラ切り。外面にヘラ記号。	灰色 (10Y5/1)	細砂粒	良好	覆土中層	底部片
9	須恵器鉢	12.5	3.4	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後、ツマミ貼付。	灰色 (7.5Y6/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	覆土中層	完形
10	須恵器鉢	(28.2)	10.4	(11.0)	ロクロ成形。底部外面ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	細砂粒	良好	覆土中層	1/4 残

第 21 表 SI63 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器鉢	—	—	6.8	ロクロ成形。底部外面及び体部下層を手触りヘラ削り。内面黒色処理。底部外面に黒色「輪」文。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中層	底部片
2	須恵器鉢	(14.0)	4.1	(7.6)	ロクロ成形。底部外面ヘラ削り。	灰色 (N5/5)	白色砂粒、微砂粒	良好	カマド内	1/5 残

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
3	須恵系高台付杯	(17.2)	(5.7)	—	ロクロ成形。底部下平に焼。	黄灰色 (2.5Y4/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	覆土中層	体部片
4	須恵系高台付杯	(12.5)	5.1	(8.2)	ロクロ成形。底部糸切り後、高台貼付。	灰色 (7.5Y5/1)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	カマド内	1/3 残

第 22 表 SI65 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師部環	(12.4)	(3.8)	—	内外とも器面が摩耗。内面磨上上げ。	にぶい黄褐色 (5YR7/4)	赤色砂粒若干	普通	覆土中層	1/5 残
2	土師部環	13.3	4.5	—	口縁及び内面全面磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	褐色 (5YR5/6)	赤色砂粒若干	普通	覆土中層	3/4 残
3	土師部環	(16.5)	—	—	口縁部磨ナデ。胴部外面へラ削り。	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	石炭、長石、粗砂粒	普通	覆土下層	口縁 1/4 残
4	須恵部環	—	(2.7)	8.6	ロクロ成形。底部糸切り後、回転へラ削り。	灰色 (5Y6/1)	石炭、粗砂粒	良好	床面直上	1/2 残
5	須恵部環	—	—	(7.8)	ロクロ成形。底部外面回転へラ削り後、へラ記号。	灰色 (N 4/)	白色砂粒、細砂粒	良好	覆土下層	底部片
6	須恵系高台付杯	14.7	4.4	8.6	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。	灰色 (5Y6/1)	白色砂粒、粗砂粒	不良	床面直上	ほぼ完成
7	須恵系高台付杯	—	—	(9.3)	ロクロ成形。底部回転へラ削り後、高台貼付。	灰色 (N5/)	白色砂粒、粗砂粒	良好	覆土下層	底部片
8	須恵部環	—	—	—	ロクロ成形。外面に黒書「ナ」	灰色 (5Y5/1)	黒砂粒	良好	覆土中	体部片
9	須恵系高台付杯	(13.4)	(1.9)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。天井部内面に磨ナデと磨。裏面に転用。	灰色 (10Y6/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	床面直上	1/2 残
10	須恵系高台付杯	(15.8)	(2.1)	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り。ツマミは欠損。	黄灰色 (2.5Y5/1)	微砂粒	良好	床面直上	1/4 残
11	須恵系高台付杯	15.9	4.7	—	ロクロ成形。天井部回転へラ削り後、ツマミ貼付。	灰色 (7.5Y5/1)	白色砂粒、細砂粒	良好	覆土中	3/4 残
12	須恵系高台付杯	—	—	—	ロクロ成形。	黄灰色 (2.5Y5/2)	微砂粒	不良	覆土下層	口縁部片
13	須恵系高台付杯	—	—	—	胴部破片。外面平行タタキ目。内面ナデ。	灰色 (7.5Y6/1)	粗砂粒	不良	覆土下層	胴部片

第 23 表 SI66 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師部環	9 × 8	2.9	—	口縁部ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	淡黄褐色 (10YR8/3)	白色砂粒、微砂粒	良好	D	ほぼ完成
2	土師部環	8.8	3.5	—	底部外面へラ削り後へラ磨き。内面磨上上げ。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	黒色砂粒	良好	床面直上	2/3 残
3	土師部環	(9.0)	2.4	—	口縁部ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土下層	1/2 残
4	土師部環	(9.2)	2.6	(6.6)	ほぼ平底。口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	白色砂粒、粗砂粒	良好	覆土下層	1/2 残
5	土師部環	(9.6)	2.7	(6.0)	ほぼ平底。口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	褐色 (7.5YR6/6)	白色砂粒、微砂粒	良好	覆土中	1/5 残
6	土師部環	(9.8)	3.6	—	口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	粗砂粒	良好	覆土中層	1/4 残
7	土師部環	12.5	4.2	—	平底気味。口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	口縁部ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	赤色砂粒	良好	床面直上	1/2 残
8	土師部環	(13.0)	(4.6)	—	口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り後に粗いへラ磨き。内面磨上上げ。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	黒色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/6 残
9	土師部環	(12.0)	(4.8)	—	口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	褐色 (7.5YR7/6)	赤色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	1/4 残
10	土師部環	14.4	5.0	—	平底気味。口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。	褐色 (7.5YR7/6)	赤色砂粒、粗砂粒	良好	床面直上	1/2 残
11	土師部環	(13.4)	(3.5)	—	口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	微砂粒	良好	覆土下層	1/6 残
12	土師部環	(12.6)	(3.9)	—	口縁部磨ナデ。底部外面へラ削り。内面磨上上げ。	褐色 (5YR6/6)	黒色砂粒、赤色砂粒	良好	床面直上	1/5 残
13	土師部環	—	(3.5)	—	底部外面へラ削り。内面粗いへラ磨き。	褐色 (5YR6/6)	赤色砂粒、粗砂粒	良好	覆土下層	底部片
14	土師部環	—	(2.3)	—	底部外面へラ削り後に粗いへラ磨き。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	覆土中	1/5 残
15	手取ね土器	(7.4)	4.8	(6.0)	口縁部磨ナデ。底部外面一部へラ削り。	にぶい黄褐色 (10YR5/4)	赤色砂粒、粗砂粒	良好	A	1/4 残
16	手取ね土器	(7.4)	3.3	6.6	全面磨ナデ。磨ナデ。	褐色 (7.5YR7/5)	粗砂粒	良好	カマド内	1/3 残
17	手取ね土器	(5.0)	4.0	(4.0)	全面磨ナデ。磨ナデ。	灰黄褐色 (10YR5/2)	微砂粒	良好	覆土中層	2/5 残
18	土師部環	(18.4)	(10.7)	—	口縁部磨ナデ。胴部外面へラ削り。内面へラナデ。	褐色 (7.5YR7/6)	黒色砂粒、粗砂粒	良好	床面直上	1/8 残
19	土師部環	(20.0)	—	—	口縁部磨ナデ。胴部外面へラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	黒色砂粒、粗砂粒	良好	覆土中層	口縁部片
20	土師部環	(15.2)	—	—	口縁部磨ナデ。胴部外面へラ削り。内面へラナデ。	淡黄褐色 (10YR8/3)	白色砂粒	良好	床面直上	口縁部片
21	土師部環	(10.2)	(6.0)	—	口縁部磨ナデ。胴部外面へラ削り。	褐色 (7.5YR7/6)	黒色砂粒、粗砂粒	良好	覆土下層	1/6 残
22	土師部環	—	(10.3)	9.0	胴部外面へラ削り後ハケ目調整。内面へラナデ。底部外面へラ削り。20 と同一体。	にぶい黄褐色 (10YR5/4)	粗砂粒	良好	床面直上	1/5 残

No	器種	寸法 (cm)			形状と開窓の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
23	土師器甕	15.8	18.3	6.3	口縁横ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	褐色 (5YR6/6)	黒色砂粒、粗砂粒	良好	床面直上	ほぼ完形
24	土師器甕 (18.0)	(14.9)	—	口縁横ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	褐色 (7.5YR6/6)	黒色砂粒、粗砂粒	良好	覆土下層	1/5 残	
25	土師器甕 (18.0)	(7.9)	—	口縁横ナデ。胴部外面ハケ目。内面へうナデ。	にぶい褐色 (7.5YR4/4)	白色砂粒、黒色砂粒	良好	カマド内	1/8 残	
26	土師器短甕 (9.1)	(8.7)	—	口縁部押突え。胴部外面縦いへう割り。内面指突えとナデで結縷み炭を焼す。	褐色 (7.5YR6/6)	粗砂粒	良好	覆土下層	2/5 残	
27	土師器短甕 (—)	(15.1)	—	胴部、最大径は 12.8cm。外側へう割り、内面指突えとナデで結縷み炭を焼す。	褐色 (7.5YR7/6)	粗砂粒	良好	カマド内	胴部片	
28	土師器短甕 (—)	(11.0)	7.0	胴部外面へう割りと指ナデ。内面指突えとナデで結縷み炭を焼す。底面外側は木炭焼。	褐色 (7.5YR7/6)	粗砂粒	良好	床面直上	1/4 残	
29	土製文脚	3.8	(6.8)	円柱状で脚部ハの字か。全面ほぼ指ナデ。	にぶい褐色 (7.5YR4/4)	やや粗密	良好	覆土下層	1/3 残	

第24表 SI67出土土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	胴高	底径						
1	土師器Ⅰ	14.7	3.8	—	平底灰土。口縁部横ナデ。体部から底部にかけてのナデ。内面全周へナデまで、体部は垂直ナデ。	赤褐色 (2.5YR4/6)	磁赤、石灰、長石	良好	床面直上	7/8 残
2	土師器Ⅱ	(13.0)	(10.2)	—	口縁部ナデナデ。胴部外縁へナデナデ。	にぶい褐色 (5YR7/4)	石灰、赤色砂粒	普通	覆土下層	1/7 残
3	須恵器Ⅰ	—	(1.6)	7.8	口ロ成形。底部へタ切り。底部外縁に朱赤「通か」とヘタ紀号。	灰白色 (5Y7/1)	細砂粒	良好	覆土上層	底面片
4	須恵器Ⅱ	—	—	—	口縁部の破片。	黄灰色 (2.5Y6)	細砂粒	良好	覆土中層	破片
5	須恵器Ⅲ	14.9	4.0	—	口ロ成形。天井部回転へタ削り残、ツムミ貼付。	灰白色 (5Y7/1)	微砂粒	良好	床面直上	ほぼ完形
6	須恵器Ⅳ	15.2	3.8	—	口ロ成形。天井部回転へタ削り残、ツムミ貼付。	灰白色 (2.5Y7/2)	石灰、長石、粗砂粒	不良	床面直上	完形
7	須恵器Ⅴ	(19.0)	(4.4)	—	口ロ成形。胴部外縁へタ削り残点。	灰白色 (5Y8/1)	細砂粒	不良	覆土中層	1/8 残

第25表 SI68出土土器觀察表

No.	設備	流量 (m)			形状と調査の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器環	12.0	4.7	—	口縁横ナデ。体外外面へう張り。内面横土仕上。	褐色 (7.5YR7/6)	織土	普通	覆土中	1/2 残
2	土師器環	13.7	5.4	—	口縁横ナデ。体外外面へう張り。内面横土仕上。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	石英、細砂粒	普通	床面直上	3/4 残
3	土師器環	14.6	5.4	—	口縁横ナデ。体外外面へう張り。内面横土仕上。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	普通	床面直上	ほぼ完形
4	土師器環	—	(2.7)	—	底外面へう張り。内面横ナデ。漆土仕上。	浅黄褐色 (7.5YR8/4)	微砂粒	普通	覆土下層	底面片
5	土師器釜	22.1	27.8	6.2	口縁横ナデ。胴部外面へう張り。内面へう張り。底面内面に木炭痕。	褐色 (10YR2/1)	粗砂粒	良好	覆土下層	2/3 残
6	土師器鉢	24.8	(36.6)	—	口縁横ナデ。胴部外面へう張り。内面へう張り。底面欠損。	明赤褐色 (5YR5/6)	石英、長石、粗砂粒	良好	カマ内	5/6 残
7	土師器湯 壺か	(13.0)	16.0	—	胴部外面へう張りと横ナデ。内底面押えとスエテで縦横みえを致す。底面外面へう張り。	灰黄褐色 (10YR8/2)	石英、長石、細砂粒	普通	覆土下層	2/5 残
8	土師器甕	21.5	(20.8)	—	口縁横ナデ。胴部外面へう張り。内面へうナデ。	にぶい褐色 (7.5YR6/3)	石英、長石、粗砂粒	良好	覆土中層	3/5 残
9	土師器甕	(21.0)	(8.9)	—	口縁横ナデ。胴部外面へう張り。内面へうナデ。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	石英、長石、雲母等	普通	床面直上	1/8 残
10	土師器環	32.0	(13.2)	—	口縁横ナデ。体外外面へう張り。内面横土仕上。	褐色 (7.5YR7/7)	織土	普通	覆土中	1/3 残

第26表 SI69 出土土器觀察表

施 工 種 別	注量 (cm)			形状と開裂の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
	口徑	高さ	底径						
土師環頭	15.4	6.7	—	口縁部横張り。体部外面へう割り。	褐色 (2.5YR6/8)	赤色砂粒、微砂粒	普通	床面直上	虎形
土師器環頭	21.8	(6.6)	—	口縁部内張りへう割き。体部外面へう割り。内面へう割りへう割き。体部外面に黒い点。	褐色 (2.5YR6/8)	赤色砂粒、微砂粒	良好	床面直上	環部 1/2 残

第27表 SI70出土土器觀察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	須恵器杯	(14.4)	4.1	(9.4)	ロクロ成形。底面ヘタ切り。	灰色 (N5)	石炭、粘土	良好	床面直上	2/5 残
2	須恵器高足杯	—	(4.0)	(15.0)	ロクロ成形。底面廻転ヘタ作り後高台付。底面外周に墨がけ施す。転用痕あり。	灰色 (SY6/1)	糠砂粒	良好	床面直上	1/4 残

第 28 表 SI71 出十十嬰親察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器環	—	(2.7)	6.0	ロクロ成形。底部糸切り。内面へラ磨き肌成面。	にじい・褐色 (7.5YR7/4)	石英、赤色砂粒	良好	覆土下層	1/4 残

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
2	土師器鉢	—	(3.9)	—	体部破片。口口成形。内面黒色処理。底部外縁に黒書「不明」。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	良好	覆土下層	体部片
3	土師器甕	(21.0)	(6.8)	—	口縁部破ナデ。胴部外面へう割り。	にぶい褐色 (5YR5/4)	石灰、長石	普通	覆土中	口縁部片

第 29 表 SI72 出土土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器甕	20.6	(22.7)	—	口縁部破ナデ。胴部下半や肩いへう割り。	にぶい褐色 (5YR6/4)	石灰、長石、雲母等	普通	床面直上	2/5 残
2	土師器鉢	12.4	8.0	6.8	体部及び底部外面へう割り。内面黒色処理。	灰黄色 (2.5Y7/2)	石灰、長石	普通	床面直上	2/3 残
3	須恵器環	12.8	4.3	6.4	口口口成形。底部外面手持ちへう割り。底部外面に黒書「万呂」か。	灰色 (7.5Y5/1)	灰石、細砂粒	良好	覆土中層	2/3 残
4	須恵器環	—	—	7.6	口口口成形。底部へう割り。底部外面にへう割。	灰色 (10Y4/1)	微砂粒	良好	覆土下層	底部 1/3 残
5	須恵器環	—	(3.6)	(6.2)	口口口成形。底部へう割り。底部外面にへう割。	灰色 (N5)	細砂粒	良好	覆土中	1/6 残
6	須恵器環	—	(2.0)	(6.4)	口口口成形。底部へう割り。底部外面にへう割。	灰色 (N4)	微砂粒	良好	覆土中	1/5 残
7	須恵器甕	—	(8.3)	—	胴部破片。外面同心円タタキ目。内面へう割。	灰色 (N5)	白色砂粒	良好	覆土中層	胴部片

第 30 表 SI73 出土土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器鉢	14.1	4.3	—	体部外面へう割り。その他は全面へう割まで。体部内面は放射状。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	緻密	良好	床面直上	ほぼ完形
2	土師器鉢	13.0	6.4	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は全面へう割。	褐色 (2.5YR6/6)	緻密	普通	床面直上	ほぼ完形
3	土師器鉢	14.2	6.0	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。体部内面へう割。	褐色 (2.5YR6/6)	緻密	普通	カマド	ほぼ完形
4	土師器鉢	13.4	6.8	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は全面へう割。	褐色 (2.5YR6/6)	微砂粒	普通	床面直上	ほぼ完形
5	土師器甕	(21.0)	16.3	—	口縁部破ナデ。胴部内外面とも粗いへう割。	褐色 (2.5YR7/8)	微砂粒	良好	床面直上	1/2 残

第 31 表 SI74 出土土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器鉢	(10.2)	3.5	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は放射状。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	良好	床面直上	1/3 残
2	土師器鉢	10.0	3.4	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は放射状。	にぶい褐色 (5YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中	3/4 残
3	土師器鉢	(9.8)	3.1	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は放射状。	にぶい褐色 (5YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中層	1/4 残
4	土師器鉢	12.8	4.3	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は放射状。	褐色 (5YR7/6)	微砂粒	良好	床面直上	2/3 残
5	土師器鉢	(14.8)	5.1	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。内面は放射状。	にぶい褐色 (5YR7/4)	微砂粒	良好	床面直上	1/3 残
6	土師器鉢	(12.4)	(4.2)	—	口口口成形。体部外面に黒書「生田」。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	良好	覆土中	体部片
7	土師器鉢	(12.0)	(7.3)	—	口縁部破ナデ。体部外面へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	細砂粒	普通	床面直上	1/4 残
8	土師器鉢	13.8	7.4	6.8	口縁部破ナデ。胴部外面へう割り。内面へう割り。底部外面に木炭痕。	にぶい褐色 (5YR7/4)	微砂粒	良好	床面直上	4/5 残
9	手捏ね土器	(8.0)	3.6	6.0	外面指ナデ。握ね。内面へう割り。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	良好	床面直上	3/4 残
10	土師器甕	(16.8)	(6.0)	—	口縁部破ナデ。胴部外面へう割り。内面へう割り。	暗褐色 (10YR3/3)	雲母、細砂粒	普通	覆土中層	1/5 残
11	須恵器環	(13.6)	(3.6)	—	口口口成形。	灰色 (7.5Y7/1)	微砂粒	普通	覆土中	1/4 残
12	須恵器甕	—	(4.5)	—	口口口成形。胴部外面に黒書波状文。底縁等。	暗緑灰色 (7.5GY3/1)	細砂粒	良好	覆土中	胴部片

第 32 表 SI75 出土土器観察表

No.	器種	寸法 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器鉢	—	(3.0)	8.6	口口口成形。底部及び体部下端手持ちへう割り。内面へう割。赤漆か。底部外面に黒書「阿法」。	褐色 (5YR6/6)	微砂粒	良好	覆土下層	底部片
2	土師器鉢	—	(2.8)	(6.0)	体部及び底部外面へう割り。内面粗いへう割。体部外面に黒書「口部か口口」。	浅黄褐色 (7.5YR8/4)	微砂粒	良好	覆土中層	底部片
3	土師器甕	(21.6)	(18.3)	—	口縁部破ナデ。胴部外面へう割り。内面へう割り。	にぶい褐色 (7.5YR5/3)	石灰、長石、雲母等	普通	床面直上	1/3 残
4	須恵器環	13.4	4.5	8.8	口口口成形。底部へう割り。内面外面に漆付。底面には漆に浸った縄文のものか付着。	青灰色 (5PB5/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	4/5 残
5	須恵器環	15.0	4.8	8.2	口口口成形。底部へう割り。	灰色 (5Y7/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	4/5 残
6	須恵器環	(14.4)	4.1	8.0	口口口成形。底部へう割り。底部外面にへう割。	灰色 (5Y7/1)	微砂粒	良好	覆土中	1/4 残

No.	図様	法量 (cm)			形状と調査の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
7	須恵器杯	(14.0)	3.3	(10.2)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (5Y7/1)	微砂粒	普通	覆土上層	1/3 残
8	須恵器杯	13.2	3.9	8.1	ロクロ成形。底部ヘラ切り。底部外面にヘラ記号。	灰色 (7.5Y7/2)	長石、微砂粒	良好	No. 130, 132	3/5 残
9	須恵器杯	11.8	3.7	6.8	ロクロ成形。底部ヘラ切り。底部外面にヘラ記号。	青灰色 (5PB5/1)	微砂粒	良好	床面直上	2/3 残
10	須恵器杯	—	(2.0)	6.8	ロクロ成形。底部ヘラ切り。底部外面にヘラ記号。	青灰色 (5BG5/1)	長石、微砂粒	良好	カマド内	底部片
11	須恵器杯	—	(3.7)	(9.0)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。底部外面にヘラ記号。	浅黄灰色 (2.5Y7/3)	微砂粒	普通	カマド内	1/4 残
12	須恵器杯	—	—	7.0	ロクロ成形。底部ヘラ切り。底部外面にヘラ記号。	青灰色 (5BG5/1)	長石、微砂粒	良好	床面直上	底部片
13	須恵器杯	(14.0)	(4.0)	(9.0)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	灰色 (10Y7/1)	雲母、微砂粒	良好	床面直上	1/5 残
14	須恵器杯	(13.2)	4.1	(8.0)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	青灰色 (5PB5/1)	長石、微砂粒	良好	覆土中層	1/3 残
15	須恵器杯	(14.0)	3.7	(8.2)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	オリブ灰 (5CY6/1)	長石、微砂粒	良好	床面直上	1/3 残
16	須恵器杯	(13.4)	3.9	(8.0)	ロクロ成形。底部ヘラ切り。	青灰色 (5B5/1)	微砂粒	良好	覆土下層	1/4 残
17	須恵器高台付杯	15.5	5.1	10.1	ロクロ成形。底部外面回転ヘラ削り後に高台貼付。底部外面に墨書「物」財カマド。	灰白色 (2.5Y7/1)	長石、微砂粒	不良	覆土下層	ほぼ完形
18	須恵器高台付杯	15.2	4.7	10.5	ロクロ成形。底部ヘラ切り後高台貼付。底部外面に朱のハコ。朱印ハコに転写。	灰色 (10Y5/1)	長石、微砂粒	良好	床面直上	4/5 残
19	須恵器高台付杯	(16.0)	5.8	(9.5)	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	灰色 (10Y7/1)	長石、微砂粒	良好	カマド内	1/4 残
20	須恵器高台付杯	14.9	4.7	10.3	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	覆土上層	2/3 残
21	須恵器高台付杯	—	(3.0)	9.7	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。底部外面に墨書。転写。	青灰色 (5BG5/1)	長石、細砂粒	良好	柱穴 P 2 内	底部片
22	須恵器高台付杯	—	(1.8)	9.4	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。底部外面に墨書。転写。	灰色 (5Y7/2)	長石、微砂粒	良好	柱穴 P 2 内	底部片
23	須恵器高台付杯	(21.2)	4.2	15.0	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。底部外面にヘラ記号。	青灰色 (10BG6/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/4 残
24	須恵器高台付杯	(20.8)	4.3	(15.0)	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	青灰色 (5PB6/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/4 残
25	須恵器高台付杯	(22.2)	4.5	(15.0)	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	灰色 (5Y6/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/3 残
26	須恵器高台付杯	(23.0)	(5.4)	(15.4)	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	青灰色 (5B5/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/5 残
27	須恵器高台付杯	—	(3.4)	(15.8)	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。	青灰色 (10BG6/1)	長石、細砂粒	良好	覆土上層	1/3 残
28	須恵器高台付杯	—	(2.2)	13.1	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り後高台貼付。底部外面にヘラ記号。	灰色 (5Y7/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	底部片
29	須恵器高台付杯	(13.8)	2.4	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。	灰色 (N6/)	長石、細砂粒	良好	覆土中層	1/2 残
30	須恵器高台付杯	(16.4)	3.8	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。	灰色 (10Y6/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中層	1/5 残
31	須恵器高台付杯	17.1	3.8	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。	青灰色 (5PB5/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中層	2/3 残
32	須恵器高台付杯	—	(3.0)	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。口辺内面に墨書「万石」カマド。	褐色 (7.5YR7/6)	長石、細砂粒	不良	覆土中層	1/8 残
33	須恵器高台付杯	20.8	5.6	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。天井部内面にヘラ記号。	灰色 (10Y7/1)	微砂粒	良好	床面直上	完形
34	須恵器高台付杯	20.8	(3.5)	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り。天井部内面にヘラ記号。	青灰色 (5PB6/1)	細砂粒	良好	覆土中層	1/4 残
35	須恵器高台付杯	(21.0)	(3.9)	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り。内外面に灰カスあり。ツマミ欠損。	暗青灰色 (5PB4/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	ほぼ完形
36	須恵器高台付杯	(24.0)	(3.2)	—	ロクロ成形。平底面回転ヘラ削り後に脚部接合。脚部に長方形カシの痕跡。	青灰色 (5PB5/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中層	脚部欠損
37	須恵器高台付杯	(21.6)	(2.8)	—	ロクロ成形。平底面回転ヘラ削り後に脚部接合。	灰色 (N6/)	長石、細砂粒	良好	カマド内	脚部欠損
38	須恵器高台付杯	—	(6.9)	—	ロクロ成形。平底面回転ヘラ削り後に脚部接合。脚部に長方形カシ (3 方向カシ)。	灰色 (N6/)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/6 残
39	須恵器高台付杯	—	(8.8)	—	ロクロ成形。脚柱部のみ。	青灰色 (5B6/1)	長石、砂粒	良好	床面直上	脚部片
40	須恵器高台付杯	15.6	12.4	9.5	ロクロ成形。底部ヘラ切り後に手持ちヘラ削り。	黄灰色 (5B5/1)	長石、砂粒	良好	床面直上	ほぼ完形
41	須恵器高台付杯	—	(9.0)	—	ロクロ成形。外面外面に平行タタキ目。	灰色 (N6/)	雲母、微砂粒	良好	覆土上層	口縁部片
42	須恵器高台付杯	—	(16.7)	(10.8)	ロクロ成形。脚部欠損。高台は貼付け。外面外面に平行タタキ目。自然剥落。	暗青灰色 (5PB6/1)	長石、砂粒	良好	床面直上	1/2 残
43	須恵器高台付杯	—	(15.8)	—	外面外面に平行タタキ目。内面下半に自然剥落。	灰白色 (10Y7/1)	長石、砂粒	良好	覆土下層	脚部片

第 33 表 SI81 出土土器調査表

No.	図様	法量 (cm)			形状と調査の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器鉢	(18.0)	(5.0)	—	口縁部僅かなデコ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	粗砂粒	普通	覆土中層	口縁部片
2	土師器鉢	(20.8)	(5.2)	—	口縁部僅かなデコ。外面外面ヘラ削り。内面ヘラ削り。	褐色 (7.5YR6/6)	微砂粒	普通	覆土中層	口縁部片
3	土師器鉢	—	(6.1)	(9.0)	外面外面にヘラ削り。内面ヘラ削り。外面外面に平行タタキ目。	にぶい褐色 (5YR7/3)	粗砂粒	不良	覆土中層	脚部 1/2

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
4	須恵器杯	(13.8)	3.9	(7.5)	口クロ成形。底部糸切り。	灰白色 (2.5Y7/1)	微砂粒	普通	覆土中	1/3 残
5	須恵器杯	(13.2)	4.0	(6.8)	口クロ成形。	灰白色 (N7/)	長石、細砂粒	不良	覆土中	1/4 残

第 34 表 S182 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器甕	19.6	(29.0)	—	口縁部破ナデ。胴部外面上平直ナデ。下ハナナデ。内面ヘラナデ。	褐色 (5YR7/6)	長石、雲母	不良	カマド内	1/2 残
2	土師器甕 (付付)	12.9	(5.2)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	褐色 (7.5YR6/6)	雲母、微砂粒	普通	カマド内	口縁部 1/5 残
3	須恵器杯	(14.2)	5.3	(7.6)	口クロ成形。底部ヘラ切り。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	埋土中	1/4 残

第 35 表 S183 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器杯	(14.8)	5.0	(8.2)	口縁部破ナデ。体部及び底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。	褐色 (7.5YR7/6)	緻密	良好	覆土中	1/4 残
2	土師器甕	(20.8)	(7.5)	—	口縁部破ナデ。胴部外面ヘラナデ。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	雲母、微砂粒	良好	覆土中	口縁 1/3 残
3	土師器甕	(20.4)	(9.5)	—	口縁部破ナデ。胴部外面ヘラナデ。	褐色 (5YR7/6)	雲母、微砂粒	不良	覆土中	口縁 1/4 残
4	須恵器杯	(13.8)	4.2	7.5	口クロ成形。底部ヘラ切り後肩線部及び体部下端を子持ちヘラナデ。	黒灰色 (5P6/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中	1/2 残
5	須恵器杯	(13.4)	4.7	(9.4)	口クロ成形。底部ヘラ切りナデ。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	覆土中	1/4 残
6	須恵器甕	(16.0)	(3.6)	—	天井部割破ヘラナデ後ミミ貼付。	灰色 (N7/)	緻密	良好	カマド内	1/6 残
7	土師器甕	(15.8)	(2.7)	—	口クロ成形。口縁部ナデ。	灰色 (N7/)	細砂粒	良好	覆土中	1/5 残

第 36 表 S184 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	須恵器杯	—	(1.3)	(7.2)	口クロ成形。底部ヘラ切り。	青灰色 (5B5/1)	微砂粒	良好	覆土中	1/3 残
2	須恵器甕	—	(4.8)	—	胴部上位に二条の沈線と二段の磨損き列。中位から下にはカキ目。	青灰色 (5B6/1)	細砂粒	良好	覆土中	胴部片
3	丸瓦	長:(4.5)、幅:(5.4)、厚:1.7	—	—	凸面:ヘラナデ。凹面:布目、端部:ヘラナデ。	褐色 (7.5YR6/6)	粗砂粒	普通	覆土中	端部片

第 37 表 S185 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器甕	(20.0)	(7.0)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	赤褐色 (5YR4/6)	雲母、微砂粒	良好	覆土中	口縁 1/3 残
2	土師器小甕	(13.8)	(7.5)	—	口縁部破ナデ。胴部外面指ナデ。	暗褐色 (10YR3/3)	微砂粒	良好	覆土中	1/4 残
3	須恵器杯	13.4	(4.1)	—	口クロ成形。	灰白色 (7.5Y8/1)	長石、細砂粒	不良	覆土中	1/5 残
4	須恵器杯	—	—	6.5	口クロ成形。底部糸切り。	灰白色 (7.5Y8/1)	細砂粒	普通	覆土中	底部片

第 38 表 S186 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	器高	底径						
1	土師器杯	10.7	3.9	—	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面磨仕上げナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	普通	覆土中	ほぼ全形
2	土師器杯	(14.2)	4.8	—	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。平底風。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	緻密	良好	覆土中	1/3 残
3	土師器杯	13.8	5.2	7.5	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。ほぼ平底。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	緻密	良好	覆土中	2/3 残
4	土師器杯	(14.8)	(4.4)	—	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	緻密	良好	覆土中	1/4 残
5	土師器杯	(14.0)	(4.9)	—	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。平底風。	にぶい褐色 (7.5YR6/4)	緻密	良好	覆土中	1/4 残
6	土師器杯	(13.8)	(4.5)	—	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。平底風。	褐色 (7.5YR7/6)	緻密	良好	覆土中	1/4 残
7	土師器杯	(11.8)	5.4	(5.8)	口縁部破ナデ。体部から底部外面ヘラナデ。内面全面破ナデ。	明褐色 (5YR5/6)	緻密	良好	覆土中	1/3 残
8	土師器甕	12.2	(11.8)	(7.9)	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	暗赤褐色 (2.5YR3/4)	粗砂粒	普通	覆土中	1/3 残
9	土師器甕	(16.8)	(10.0)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	暗赤褐色 (2.5YR3/4)	粗砂粒	普通	覆土中	1/5 残
10	土師器甕	(20.0)	(6.5)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	微砂粒	良好	覆土中	口縁 1/4 残
11	土師器甕	(20.8)	(4.9)	—	口縁部破ナデ。胴部外面ヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	良好	覆土中	口縁 1/6 残
12	土師器甕	(20.8)	(17.1)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	暗赤褐色 (5YR3/3)	粗砂粒	普通	床面直上	1/5 残
13	土師器甕	(21.6)	(16.5)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	粗砂粒	良好	カマド内	1/4 残
14	土師器甕	(19.6)	(9.0)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (5YR6/4)	粗砂粒	良好	覆土中	1/6 残
15	土師器甕	(15.8)	(6.4)	—	口縁破ナデ。胴部外面ヘラナデ。内面ヘラナデ。	明赤褐色 (5YR5/6)	粗砂粒	良好	覆土中	1/4 残

No.	器種	法量 (cm)			器形と調装の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
16	土師器甕	—	(21.7)	—	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	暗赤褐色 (5YR3/4)	粗砂粒	不良	カマド内	1/3 残
17	土師器甕	—	—	7.1	胴部外面下端へう割り。底部に木炭痕。	にぶい褐色 (10YR7/2)	微砂粒	普通	甕土中	底部片
18	土師器甕	—	(3.6)	4.6	胴部外面へう割り。内面へうナデ。	明赤褐色 (2.5YR5/8)	微砂粒	良好	甕土中	底部片
19	土師器甕	—	—	6.7	胴部外面へう割り。内面へうナデ。	にぶい褐色 (5YR6/3)	粗砂粒	普通	甕土中層	底部片
20	須恵器杯	14.1	4.8	8.7	口口成形。底部へう切り。底部外面へう記号。	灰白色 (7.5Y7/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	3/4 残
21	須恵器杯	(14.4)	4.3	8.3	口口成形。底部へう切り。底部外面へう記号。	青灰色 (5P6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	1/3 残
22	須恵器杯	—	(2.4)	8.6	口口成形。底部へう切り後、軽いへう割り。	灰白色 (10YR8/2)	微砂粒	普通	甕土中	底部片
23	須恵器杯	—	(2.3)	8.0	口口成形。底部へう切り。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	底部片
24	須恵器高台付杯	(13.8)	3.7	—	口口成形。底部内面に墨書「一」か。	明赤褐色 (5P6/1)	微砂粒	普通	甕土中	底部片
25	須恵器高台付杯	—	(2.3)	10.9	口口成形。底部外面へう割り後高台貼付。	灰白色 (10Y7/1)	雲母、長石、細砂粒	不良	甕土中	底部片
26	須恵器高台付杯	14.3	4.4	10.2	口口成形。底部外面へう割り後高台貼付。底部外面へう記号。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	4/5 残
27	須恵器甕	(17.4)	(3.1)	—	口口成形。天井部回転へう割り。ツマミは欠損。	緑灰色 (7.5GY5/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	1/4 残
28	須恵器甕	—	(1.7)	—	口口成形。天井部回転へう割り後ツマミ貼付。	青灰色 (5B5/1)	微砂粒	良好	甕土中	ツマミ部片
29	須恵器甕	(18.8)	(5.0)	—	口口成形。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	口縁部片
30	須恵器甕	—	(29.5)	—	胴部外面平行タタキ目。内面は指ナデで、一部に同心円状に具線が残る。	青灰色 (5B6/1)	長石、細砂粒	良好	床面直上	1/4 残
31	軒丸瓦	面径：17.3、厚さ：3.6			瓦文様は前室書文様並八葉蓮華文。上坪主瓦及び散瓦並同。	灰褐色 (7.5YR6/3)	雲母、微砂粒	普通	甕土下層	瓦当部片
32	丸瓦	長さ：38.3、幅：16.6、厚さ：2.4			凹面には有目紋及び凹凸合わせ。	灰褐色 (7.5YR5/2)	雲母、白色砂粒	良好	床面直上	完形
33	丸瓦	長さ：35.6、幅：16.4、厚さ：2.3			凹面には有目紋。凸面広縁部寄りに有目紋を刻す「室」字と木目。	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	雲母、白色砂粒	良好	床面直上	完形
34	カマド補強材	長さ：(24.3)、幅：22.2、厚さ：9.3			断面に鑿等による調装。	灰褐色 (7.5YR6/2)	—	—	カマド内	長さ不明
35	カマド補強材	長さ：(18.8)、幅：(11.7)、厚さ：7.5			断面に鑿等による調装。	灰褐色 (7.5YR6/2)	—	—	カマド内	角の破片
36	カマド補強材	長さ：(12.9)、幅：(10.7)、厚さ：7.6			断面に鑿等による調装。	灰褐色 (7.5YR6/2)	—	—	カマド内	角の破片

第 39 表 SI87 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調装の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	須恵器杯	(13.8)	(3.9)	—	口口成形。	オリーブ灰色 (5GY6/1)	微砂粒	良好	甕土中	1/5 残
2	須恵器甕	—	(1.8)	—	口口成形。天井部回転へう割り。	青灰色 (10B6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	1/5 残

第 40 表 SI88 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調装の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器甕	15.3	6.3	9.5	体部外面縦位のへう割き。内面全面放射状のへう割き。底部外面へう割り。赤砂か。	明赤褐色 (5YR5/6)	緻密	良好	甕土中	4/5 残
2	土師器甕	(20.8)	(12.0)	—	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	にぶい赤褐色 (5YR5/4)	微砂粒	良好	甕土中	1/5 残
3	須恵器杯	14.6	4.0	9.1	口口成形。底部へう切り。	灰白色 (7.5Y7/1)	長石、細砂粒	不良	床面直上	ほぼ完形
4	須恵器高台付杯	(14.4)	4.7	(9.8)	口口成形。底部回転へう割り後に高台貼付。	灰白色 (10Y7/1)	長石、細砂粒	普通	甕土中	1/8 残
5	須恵器甕	(14.8)	—	—	口口成形。口縁部外面直下に乾。	オリーブ灰色 (5GY6/1)	緻密	良好	甕土中	口縁部片

第 41 表 SI89 出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調装の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口径	高さ	底径						
1	土師器杯	(11.0)	3.4	—	口縁破ナデ。体部及び底部外面へう割り。内面破ナデ。遠近上げか。底部外面に一部木炭痕。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	緻密	良好	甕土中	1/5 残
2	土師器甕	—	(5.1)	(5.0)	口縁破ナデ。体部及び底部外面へう割り。内面へうナデ。内面遠近上げか。	にぶい黄褐色 (10YR7/4)	緻密	良好	甕土中	1/4 残
3	土師器甕	12.2	13.1	8.2	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	粗砂粒多量	良好	床面直上	完形
4	土師器甕	—	(28.5)	(6.4)	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	暗赤褐色 (5YR3/4)	粗砂粒多量	普通	甕土中	1/4 残
5	土師器甕	(18.8)	(26.0)	(6.0)	口縁破ナデ。胴部及び底部外面へう割り。内面へうナデ。	にぶい褐色 (5YR6/3)	粗砂粒多量	普通	甕土中	1/3 残
6	土師器甕	17.1	18.9	—	口縁破ナデ。胴部及び底部外面へう割り。内面へうナデ。ほぼ丸底。	にぶい褐色 (5YR6/3)	粗砂粒	良好	甕土中	ほぼ完形
7	土師器甕	24.8	(20.4)	—	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	明灰褐色 (7.5YR7/2)	粗砂粒多量	不良	甕土下層	1/3 残
8	土師器甕	(22.8)	(17.0)	—	口縁破ナデ。胴部外面へう割り。内面へうナデ。	にぶい褐色 (7.5YR6/3)	粗砂粒	良好	カマド内	1/4 残

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
9	須恵器環	16.1	5.4	10.6	ロクロ成形。底部外面回転ヘラ削り。	灰色 (SY7/1)	細砂粒	不良	床面直上	4/5 残
10	須恵器蓋	16.7	4.2	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。天井部外面にヘラ記号。	青灰色 (SBG5/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中層	ほぼ完形
11	須恵器蓋	16.8	3.8	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り後ツマミ貼付。天井部外面に自然釉付着。	灰白色 (10Y7/1)	長石、細砂粒	良好	甕土下層	欠形
12	須恵器蓋	(23.4)	(3.5)	—	ロクロ成形。	青灰色 (SBG5/1)	微砂粒	良好	甕土中	口縁部片
13	須恵器蓋	—	(10.5)	—	甕部内面同心円文、外面格子状タタキ目。	灰色 (N6/)	長石、細砂粒	良好	甕土中	胴部片

第 42 表 SI92 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師器鉢	(19.8)	(11.0)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	黄母、微砂粒	普通	カマド内	1/5 残
2	土師器鉢	—	(7.6)	4.7	胴部から底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。1) と同一個体か。	明赤褐色 (2.5YR5/6)	黄母、微砂粒	普通	カマド内	底部片
3	須恵器高台付環	(12.4)	5.2	(7.6)	ロクロ成形。底部外面回転ヘラ削り後高台貼付。	青灰色 (SBG5/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	1/2 残

第 43 表 SI93 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師器鉢	(10.4)	(3.3)	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	良好	甕土上層	1/5 残
2	土師器鉢	(13.0)	(3.2)	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	暗褐色 (10YR3/3)	微砂粒	良好	甕土上層	1/5 残
3	土師器鉢	(8.4)	5.7	4.3	口縁横ナデ。底部から底部外面指ナデ。内面ヘラナデ。	淡褐色 (5YR8/4)	微砂粒	良好	甕土上層	1/2 残
4	土師器鉢	11.0	6.1	6.3	口縁横ナデ。底部から底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	細砂粒	普通	甕土上層	3/4 残

第 44 表 SI94 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師器鉢	19.2	(30.2)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	淡褐色 (5YR8/4)	細砂粒	不良	カマド内	2/3 残
2	土師器鉢	(21.8)	(14.5)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	明黄褐色 (10YR7/6)	長石、黄母	普通	カマド内	1/3 残
3	須恵器鉢	26.1	23.1	12.6	ロクロ成形。胴部外面中に平行タタキ目。下半ヘラ削り。胴部内面に内形の当て具痕。	にぶい褐色 (5YR7/3)	細砂粒、長石、石英	普通	カマド内	ほぼ完形
4	平瓦	長さ: 11.9、幅: 25.7、厚さ: 2.0			凹面には布目痕と模範痕。凸面には格子状タタキ目。	淡黄色 (2.5YB/4)	細砂粒	普通	床面直上	瓦片

第 45 表 SI95 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師器鉢	(12.6)	(3.0)	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面横ナデ。	にぶい褐色 (5YR7/3)	微砂粒	普通	甕土中	1/5 残
2	土師器鉢	(14.8)	(4.6)	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面横ナデ。	にぶい褐色 (5YR7/3)	微密	良好	甕土中	1/5 残
3	土師器鉢	(19.8)	(5.9)	—	口縁横ナデ。底部外面粗ヘラ削り。	にぶい赤褐色 (2.5YR5/4)	長石、黄母	良好	甕土中	1/6 残
4	土師器鉢	(21.4)	(13.8)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	赤褐色 (2.5YR5/6)	細砂粒、長石	普通	甕土中	1/4 残

第 46 表 SI96 出土土器観察表

No.	器種	流量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底徑						
1	土師器鉢	(13.0)	4.3	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面横ナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/3)	微砂粒	普通	甕土中	1/2 残
2	土師器鉢	(13.8)	(3.4)	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面横ナデ。	淡黄色 (2.5YB/4)	微密	良好	甕土中	1/6 残
3	土師器鉢	(13.2)	5.1	—	口縁横ナデ。底部外面ヘラ削り。内面横ナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/3)	微砂粒	良好	甕土中	1/2 残
4	土師器鉢	(15.6)	5.7	6.2	口縁横ナデ。底部外面指ナデ。下半ヘラ削り。内面は横ナデで、擦り上げかけ。底部外面に木重痕。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	細砂粒	普通	甕土中	1/3 残
5	手捏むす土器	3.5	2.6	3.0	内外とも手捏ね、指ナデ。	にぶい褐色 (7.5YR7/4)	微砂粒	普通	甕土中	2/3 残
6	土師器高台付蓋	—	(4.2)	—	外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (5YR6/3)	細砂粒	普通	甕土中	台部片
7	土師器鉢	(22.8)	(20.0)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	にぶい赤褐色 (2.5YR5/3)	粗砂粒多量	良好	甕土中	1/3 残
8	須恵器鉢	—	(2.2)	7.8	ロクロ成形。底部ヘラ削り。	青灰色 (SBG6/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	底部片
9	須恵器蓋	—	(3.0)	—	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り。ツマミ欠。	オリーブ灰色 (5C6Y/1)	長石、細砂粒	良好	甕土中	1/6 残

第 47 表 掘立柱建物跡出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器杯	(12.8)	3.6	—	口縁横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	黄褐色 (2.5Y5/3)	緻密	良好	SB22 柱六 基土中	1/4 残
2	須恵器高 台付杯	—	(3.6)	—	口クロ成。底面外面回転ヘラ削り後 高台貼付。	青灰色 (10B6/1)	微砂粒	良好	SB25 柱六 基土中	1/4 残
3	須恵器盥	(17.6)	(2.1)	—	口クロ成。ツマミ欠損。	赤灰色 (5R6/1)	長石、細砂粒	良好	SB25 柱六 基土中	1/8 残

第 48 表 井戸跡出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	須恵器盥	14.7	4.1	—	口クロ成。天井部回転ヘラ削り後に ツマミ貼付。	灰白色 (7.5Y7/ 1)	長石、細砂粒	良好	SE13 底 面	4/5 残
2	須恵器盥	(14.0)	(3.3)	—	口クロ成。天井部回転ヘラ削り後に ツマミ貼付。ツマミ欠損。天井部内面 にヘラ配。	青灰色 (5P87/1)	長石、細砂粒	良好	SE13 覆 土中	1/3 残
3	須恵器高 台付杯	—	(2.2)	(14.0)	口クロ成。底面外面回転ヘラ削り後 に高台貼付。底面外面にヘラ配。	青灰色 (5P86/ 1)	長石、細砂粒	良好	SE14 覆 土中	底部片
4	須恵器高 台付杯	—	(1.8)	(10.4)	口クロ成。底面糸切り後に高台貼付。	明灰色 (5P87/1)	長石、細砂粒	良好	SE14 覆 土中	底部片
5	須恵器盥	—	(6.5)	—	口クロ成。側面外面に平行タタキ目、 内面に黒文の付て具。	青灰色 (5P86/ 1)	長石、細砂粒	良好	SE19	頸部片
6	土師器盥	(20.2)	—	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面 ヘラナデ。	赤褐色 (10R5/4)	雲母、細砂粒	普通	SE20	1/6 残
7	土師器盥	—	(9.0)	5.3	胴部から底部外面ヘラ削り。内面ヘラ ナデ。底部外面に木炭痕が一部残る。	にぶい黄褐色 (10YR7/3)	微砂粒	良好	SE20	底部片
8	須恵器盥	—	(3.9)	—	口クロ成。底面ヘラ削り。	灰色 (7.5Y6/1)	微砂粒	良好	SE20	1/6 残
9	須恵器盥	(15.6)	(2.1)	—	口クロ成。	灰色 (7.5Y6/1)	長石、細砂粒	良好	SE20	1/6 残
10	須恵器高 台付盥	6.2	5.6	5.8	口クロ成。外面胴部下端から底部を 手持ちヘラ削り。	灰色 (5Y6/ 1)	長石、細砂粒	良好	SE20	片形

第 49 表 土坑出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	須恵器盥	—	(2.4)	8.0	口クロ成。底面ヘラ削り。	灰色 (7.5Y7/1)	長石、細砂粒	普通	SK144 覆 土中	1/3 残
2	土師器小 型盥	(15.8)	(5.8)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面 ヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR 7/3)	微砂粒	良好	SK333 覆 土中	口縁部片
3	土師器小 型盥	12.0	(8.1)	—	口縁横ナデ。胴部外面ヘラ削り後、上 部は糸切りヘラ削き。内面はヘラナデ。	にぶい褐色 (7.5YR 7/4)	緻密	良好	SK333 覆 土中	1/4 残
4	土師器台 付盥	—	(5.2)	—	台座。外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	にぶい褐色 (2.5YR5/3)	粗砂粒	普通	SK333 覆 土中	台部片
5	須恵器高 台付杯	15.4	5.5	9.6	口クロ成。底面外面回転ヘラ削り後、 高台貼付。	灰色 (10Y7/1)	長石、細砂粒	普通	SK333 覆 土中	3/4 残
6	須恵器盥	(15.8)	(2.7)	—	口クロ成。天井部回転ヘラ削り。ツ マミは欠損。	青灰色 (10YR6/1)	長石、細砂粒	良好	SK333 覆 土中	1/4 残
7	土師器盥	(12.8)	(4.9)	—	口縁横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面 ヘラ削き。	にぶい褐色 (7.5YR 7/4)	粗砂粒	普通	SK334 覆 土中	口縁部片
8	土師器盥	—	(3.2)	7.1	外面体部から底面ヘラ削り、内面ヘラ 削き。	にぶい褐色 (7.5YR 7/4)	緻密	良好	SK334 覆 土中	底部片
9	土師器台 付盥	—	(5.6)	11.1	外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	赤褐色 (10R5/3)	粗砂粒多量	不良	SK334 覆 土中	台部片
10	須恵器盥	(13.8)	4.8	(8.7)	口クロ成。底面ヘラ削り。体部外面 にヘラ配。	灰色 (N6/)	雲母、細砂粒	普通	SK334 覆 土中	1/3 残

第 50 表 溝跡出土土器観察表

No.	器種	法量 (cm)			器形と調整の特徴	色調	胎土	焼成	出土地点	備考
		口徑	器高	底径						
1	土師器盥	(13.8)	(3.4)	—	口縁横ナデ。体部外面ヘラ削り。	灰褐色 (7.5YR6/2)	緻密	良好	SD05	1/4 残
2	須恵器盥	—	(3.4)	—	口縁横ナデ。体部外面に横溝を被状に 配。	暗灰色 (8/3)	微砂粒	良好	SD40	底部片
3	平瓦	長さ：(7.4)、幅：(6.8)、 厚さ：2.1	—	—	端部ヘラ削り。	にぶい褐色 (7.5YR 7/4)	微砂粒	普通	SD41 覆 土中	端部片
4	土師器盥	—	(2.1)	(6.8)	口クロ成。底面ヘラ削り。内面はヘ ラ削きに黒文処理。	明褐色 (7.5YR7/1)	微砂粒	普通	SD41 覆 土中	底部片
5	須恵器盥	—	(2.5)	(8.0)	口クロ成。底面ヘラ削り。	灰色 (5Y5/1)	微砂粒	良好	SD41 覆 土中	底部片
6	須恵器盥	—	(1.8)	(7.6)	口クロ成。底面ヘラ削り。	青灰色 (5B5/1)	長石、細砂粒	良好	SD41 覆 土中	底部片
7	須恵器盥	—	(1.8)	—	口クロ成。天井部回転ヘラ削り。ツ マミ欠損。	灰色 (7.5Y6/1)	長石、細砂粒	良好	SD43 覆 土中	天井部片
8	須恵器高 台付杯	—	(1.3)	—	口クロ成。底面回転ヘラ削り後、高 台貼付。	にぶい赤褐色 (5YR5/3)	微砂粒	良好	SD43 底 面	底部片

第51表 紡錘車観察表

№	種別	法量 (cm)	材質・色調	重量 (g)・粘土	出土地点	備考
1	石製紡錘車	上面径:4.6, 下面径:2.4, 孔径:0.8, 厚:1.9	蛇紋石	63.24	S154 覆土中	側面に放射状工具痕
2	土製紡錘車	上面径:3.1, 下面径:2.7, 孔径:0.5, 厚:2.1	河原色砂 (10YR5/2)	微砂粒	S163 覆土中	側面に工具痕。焼成良好。

第52表 砥石観察表

№	種別	法量 (cm)	材質	重量 (g)	出土地点	備考
1	砥石	最大長:6.0, 最大幅:2.7, 最大厚:2.3	凝灰岩	63.24	S160 覆土中	4面に使用痕。
2	砥石	最大長:6.0, 最大幅:4.3, 最大厚:1.7	凝灰岩	29.64	S171 覆土中	2面に使用痕
3	砥石	最大長:3.0, 最大幅:3.1, 最大厚:1.1	浮石凝灰岩	14.81	S186 覆土中	
4	砥石	最大長:1.1, 最大幅:1.9, 最大厚:1.3	凝灰岩	20.60	S188 覆土中	2面に使用痕
5	砥石	最大長:5.3, 最大幅:6.4, 最大厚:1.8	凝灰岩か	101.75	SD44 覆土中	

第53表 鉄製品観察表

№	種別	法量 (cm)	重量 (g)	出土遺構	出土地点	備考
1	鉄鏃	長:(3.5), 幅:(2.0), 厚:0.1	2.22	S139	覆土上層	無茎式。鏃身先端に直径3mmの円孔。
2	鉄鏃	長:(3.6), 幅:2.6, 厚:0.5	8.4	S125	床面直上	鏃部欠損。
3	鉄鏃	長:7.2, 幅:2.8, 厚:0.3	12.5	S175	床面直上	一部欠損。
4	鉄鏃	長:(8.8), 幅:0.7, 厚:0.6	10.54	S125	覆土中層	鏃部欠損
5	鉄鏃	長:(3.6), 幅:0.5, 厚:0.4	1.82	S155	覆土中	鏃部欠損
6	鉄鏃	長:(5.9), 幅:0.6, 厚:0.4	6.4	S154	床面直上	鏃部欠損
7	鉄鏃	長:(5.6), 幅:0.5, 厚:0.4	3.08	S154	床面直上	鏃部欠損
8	鉄鏃か	長:(11.9), 幅:0.5, 厚:0.4	7.63	S186	覆土下層	鏃部か
9	鉄鏃か	長:(5.9), 幅:0.7, 厚:0.5	5.97	S161	覆土上層	鏃部欠損
10	鉄鏃か	長:(5.4), 幅:0.8, 厚:0.5	6.26	S163	覆土上層	鏃部欠損か
11	鉄鏃か	長:(3.9), 幅:0.8, 厚:0.4	3.22	S175	覆土中層	鏃部欠損
12	鉄鏃か	長:(4.4), 幅:0.7, 厚:0.3	4.15	S175	覆土上層	鏃の基部か
13	刀子	長:(14.9), 幅:2.7, 厚:0.5	53.91	S171	覆土上層	先端部欠損
14	鏃	長:(9.5), 幅:2.6, 厚:0.3	34.63	S124	床面直上	刃部先端欠損。
15	鏃	長:(8.2), 幅:4.0, 厚:0.5	63.84	S124	床面直上	刃基部欠損
16	刀子	長:(14.8), 幅:1.2, 厚:0.3	13.26	S122	覆土中層	基部基部欠損
17	刀子	長:(14.8), 幅:1.0, 厚:1.3	19.32	S122	覆土中層	刃部→基部の欠損
18	刀子	長:(7.2), 幅:1.0, 厚:0.3	8.77	S122	覆土中	刃部→基部の欠損
19	刀子	長:(5.5), 幅:1.2, 厚:0.5	11.84	S122	覆土中	刃部→基部の欠損
20	刀子	長:(6.9), 幅:1.1, 厚:0.5	13.49	S122	覆土中	刃部→基部の欠損
21	刀子	長:(5.7), 幅:0.8, 厚:0.2	3.79	S122	覆土中	基部欠損
22	刀子	長:(10.8), 幅:1.2, 厚:0.4	16.45	S124	覆土下層	刃部→基部の欠損
23	刀子	長:(9.4), 幅:1.2, 厚:0.4	13.54	S124	覆土下層	刃部→基部の欠損
24	刀子	長:(10.5), 幅:1.1, 厚:0.5	8.83	S125	覆土中層	刃部欠損
25	刀子	長:(5.7), 幅:2.1, 厚:0.3	15.19	S140	覆土中層	刃部欠損
26	刀子	長:(9.8), 幅:0.8, 厚:0.4	0.95	S154	床面直上	基部欠損
27	刀子	長:(4.6), 幅:1.0, 厚:0.3	3.74	S195	覆土中層	基部基部欠損
28	刀子	長:(3.5), 幅:1.3, 厚:0.6	5.68	S159	覆土下層	刃部欠損
29	刀子	長:(8.3), 幅:2.3, 厚:0.5	20.83	S159	覆土下層	刃部→基部欠損
30	刀子	長:(5.6), 幅:1.4, 厚:0.5	7.95	S159	覆土下層	基部基部欠損
31	刀子	長:(6.2), 幅:1.5, 厚:0.3	8.5	S166	覆土中	刃部欠損
32	刀子	長:(6.8), 幅:1.4, 厚:0.4	9.27	S168	柱穴F1内	刃部→基部の欠損
33	刀子	長:(8.2), 幅:1.2, 厚:0.3	8.68	S196	覆土中	刃部→基部の欠損
34	刀子	長:(4.7), 幅:0.6, 厚:0.4	6.83	S196	覆土中	基部基部欠損。水質が残る。
35	鉄片	長:(10.1), 幅:4.4, 厚:1.7	146.6	S154	覆土下層	刃部→基部欠損
36	鉄片	長:(8.0), 幅:(3.4), 厚:0.7	37.37	S124	覆土上層	刃部欠損
37	鉄片	長:(6.2), 幅:(3.9), 厚:0.9	49.71	S124	床面直上	刃部欠損
38	釘	長:(7.5), 幅:1.5, 厚:0.7	16.22	S122	覆土中	先端部欠損
39	釘	長:(8.0), 幅:1.5, 厚:0.7	19.09	S124	覆土下層	先端部欠損
40	釘	長:(2.4), 幅:0.8, 厚:0.5	3	S167	覆土上層	頭部欠損
41	釘	長:(2.4), 幅:0.8, 厚:0.5	18.11	S124	覆土中層	欠形
42	釘	長:10.2, 幅:1.6, 厚:0.7	25.26	S125	覆土上層	欠形
43	釘	長:(11.1), 幅:1.7, 厚:1.0	21.48	S125	覆土中層	ほぼ欠形
44	釘	長:(10.95), 幅:1.5, 厚:1.0	31.05	S125	床面直上	ほぼ欠形。少しねじれている。
45	釘	長:(5.4), 幅:1.3, 厚:0.4	7.61	S162	覆土中層	先端部欠損
46	釘か	長:(4.2), 幅:0.9, 厚:0.4	5.57	S166	床面直上	U字形に曲がる。鉄把手の可能性も。
47	釘	長:12.3, 幅:1.5, 厚:0.8	24.86	S154	床面直上	頭部一部欠損
48	釘	長:7.1, 幅:0.4, 厚:0.4	4.22	S174	覆土中	ほぼ欠形
49	釘	長:(6.7), 幅:1.5, 厚:0.6	13	S175	覆土中層	先端部欠損
50	釘	長:(8.7), 幅:0.9, 厚:0.7	16.54	S184	南棟持持内	先端部が折れ曲がっている
51	釘	長:(9.6), 幅:0.8, 厚:0.7	16.1	S184	南棟持持内	先端がねじれて折れ曲がっている
52	鉄か	長:(12.9), 幅:1.0, 厚:0.4	24.25	S186	床面直上	X字型。把手部は欠損。
53	不明	長:(7.2), 幅:0.9, 厚:0.7	7.74	S186	覆土下層	鉄の把手欠損か。
54	不明	長:(10.0), 幅:1.1, 厚:1.0	24.89	S186	覆土下層	鉄の把手欠損か。53と同一個体か。

No.	器種	寸量 (cm)	重量 (g)	出土遺構	出土地点	備考
55	耳環	径: 一 厚: 0.5 × 0.6	3.02	S154	覆土下層	約 1/4 残
56	耳環	径: (3.2), 厚: 0.5 × 0.6	7.16	S154	覆土下層	約 1/2 残
57	鉄押	径: 7.6, 幅: 7.0, 厚: 2.7	147.37	S125	覆土中層	桃形押
58	鉄押	径: 3.9, 幅: 3.5, 厚: 1.5	21.14	S154	覆土中層	

IV まとめ

1 集落の時期と変遷

ここでは先行して発掘調査された大関台遺跡と今回の小屋原遺跡（南地区、北地区）を一つの遺跡と捉え（第146図参照）、確認された集落の時期と変遷について考えてみたい。ちなみに確認された建物跡数は合計で竪穴住居跡184軒（大関台遺跡96軒、小屋原遺跡88軒）、掘立柱建物跡54棟（大関台遺跡19棟、小屋原遺跡35棟）に上っている。

(1) 出土土器の編年

出土土器の編年については大関台遺跡の調査報告書において詳細な分析に基づく9期編年がなされており、基本的にはこの基準に従った。第145図の出土土器変遷図は、大関台遺跡で示されたものを骨子に小屋原遺跡の良好な資料を追加して作成したものである。なお近隣における発掘調査では、立野遺跡・砂田遺跡・中島笹塚遺跡・権現山遺跡等の編年案も提示されており、参考とした部分も多い。各時期における土器群の様相や時期の基準等は以下のとおりである。

1期 資料数は非常に少ないが、土師器内斜口縁の坏や埴の形状等から古墳時代中期後葉段階とみられ、時期的にはTK23・47段階の須恵器蓋が伴うことから5世紀後葉～6世紀初頭と考えられる。

2期 土師器坏は、体部外面に稜を持って口縁部が内傾・直立・外傾等する所謂須恵器模倣坏が中心となる。近隣遺跡でMT15・TK10段階の須恵器と共存することから6世紀前～中葉と考えられる。

3期 須恵器模倣坏を中心とする土師器坏の組成は前期と同じであるが、口径・器高がやや大型化する。また、土師器甕の長胴化傾向が始まる。時期としては、TK43段階の須恵器が伴っていることから6世紀後葉と考えられる。

4期 土師器坏に一部小型化が進むとともに、土師器高坏が短脚となる。時期的にはTK209段階の須恵器を伴うことから7世紀前葉頃と考えられる。

5期 土師器坏が最も小ぶりとなる。土師器甕は長胴化がさらに進み、口縁部径が胴部径を上回るようになる。時期的には飛鳥編年後半段階の須恵器を伴うことから、7世紀中～後葉頃と考えられる。

6期 土師器坏は扁平化が進み、平底風のものや皿状のものも現れる。須恵器坏（高台付坏）の出土が増加し、供膳具の一定量を占めるようになる。時期的には益子窯跡群・原東4号窯段階のものがみられることから、8世紀前葉頃と考えられる。

7期 土師器坏は扁平化・平底化が進むとともに、ロクロ使用のものも現れる。須恵器坏類の出土量はさらに増加し、供膳具を占める割合は土師器を上回るようになる。土師器甕は伝統的な長胴甕が終焉を迎え、下野型や武蔵型といった地域性の強いものが主流となってくる。時期的には益子窯跡群・原東2号窯段階から谷津入1号窯段階のものがみられることから、8世紀中～後葉頃と考えられる。

8期 土師器坏はロクロ使用のものが主体となり、須恵器坏類とほぼ同様な器種組成や器形変化を示してくる。時期的には益子窯跡群・カスガ入窯段階のものがみられることから9世紀前葉段階と考えられる。

9期 土師器坏は引き続きロクロ成形で、小底径化が進む。須恵器坏もほぼ同様な器形変化を示し、底部も切り離し後未調整のものがほとんどとなる。時期的には益子窯跡群・滝ノ入・倉見沢段階のものがみられることから、9世紀中葉頃と考えられる。

(2) 集落の変遷

以上のように本集落跡は古墳時代中期から平安時代前半頃までの長期に渡り営まれたもので、出土土器から9時期に区分することができる。ここではこの9時期区分に沿って、竪穴住居跡を中心とした集落の変遷について考えてみたい。なお第54表は各時期の所属竪穴住居跡を示したものであるが、出土土器が確認されなかった竪穴住居跡は除いてある。

1期（5世紀後葉～6世紀初頭）中央地区のほぼ中程で、確認された竪穴住居跡は僅か2軒である。周辺に未調査部はあるが、いずれにしても小規模な段階と思われる。江川を挟んで東に隣接する成願寺遺跡では古墳時代中期から後期にかけた集落跡が確認されており、これらとの関連が考えられる。

2期（6世紀前～中葉）竪穴住居跡が増加し集落としての広がりが窺える段階。ただし調査区全体からみるとやはり中央部に集中しており、南北への拡大は認められない。

3期（6世紀後葉）中央部を中心に竪穴住居跡がさらに増加するとともに、南北への広がりが確認できる段階。また中心部には一辺が8m近い大型の竪穴住居跡（SI-101・110）が現れ、集落の拠点が形成されていく様子が窺える。

4期（7世紀前葉）前期とほぼ同様な集落立地で、竪穴住居跡数も着実に増加している。特に南地区における開発の進展が確認できる。

5期（7世紀中～後葉）集落の構成や立地状況は前期とほぼ同様であるが、特に北地区における竪穴住居跡数の増加が顕著で、新たな開発の進展を窺うことができる。

6期（8世紀前葉）竪穴住居跡数が大きく増加し調査区のほぼ全域で確認される段階で、本集落変遷上の画期となる時期である。南地区で確認された道路状遺構は、本集落を載せる台地の東端部を北上するものであるが、出土土器等から本時期以降に整備されたものと思われる。また南地区ではこの道路に沿って一辺が8m前後となる大型の竪穴住居跡（SI29・42）も確認されている。なお本遺跡では50棟を超える掘立柱建物跡が確認されているが、出土遺物等から時期を推定できるものはほとんどみられない。中央地区のSB-5を中心とした9棟、北地区のSB20を中心とした6棟等、掘立柱建物跡の集中箇所がいくつかみられるが、竪穴住居跡群とのセットで概ね本時期以降から展開していくものと思われる。

7期（8世紀中～後葉）ほぼ前期と同様な集落立地と構成で、確認された竪穴住居跡数が最も多い段階である。北地区では道路状遺構は確認されないものの、台地東端部沿いに一辺が8m前後となる大型の竪穴住居跡2棟（SI24・75）が確認され、いずれも多量の鉄製品や墨書土器を出土している。

8期（9世紀前葉）確認された竪穴住居跡数がやや減少するとともに、集落の立地も台地東端部寄りに縮小した様子が窺われる。

9期（9世紀中葉）集落の立地・構成はほぼ前期と同様で、台地東端部よりに偏っている。確認される竪穴住居跡数に大きな減少はみられないが、竪穴平面規模の小型化が進んでいる。

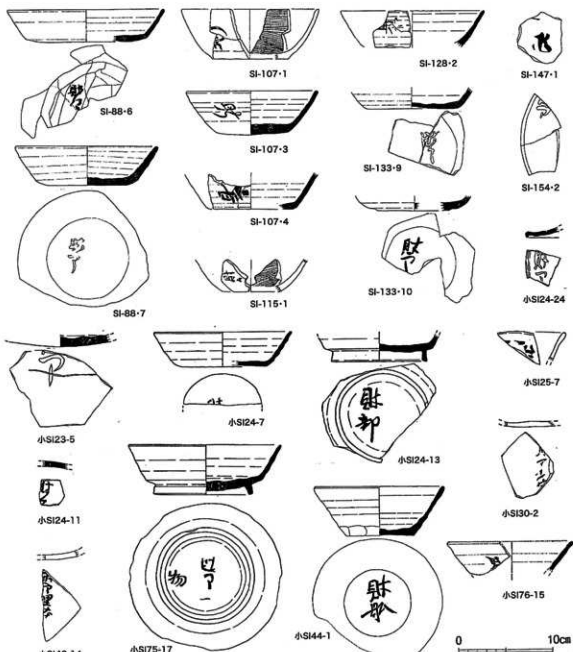
2 墨書土器について

大関台・小屋原遺跡では合わせて46点の墨書土器（朱書を含む）が出土している。第55表に示したとおり時期的には6期（8世紀前葉）以降9期（9世紀中葉）まで続くが、7期（8世紀中～後葉）に19点が確認され、一つのピークを迎えているのが特徴的である。さて本遺跡の墨書土器で最も注目されるのは「財部」に関連する墨書の多さで、その数は22点に上り、全体のほぼ

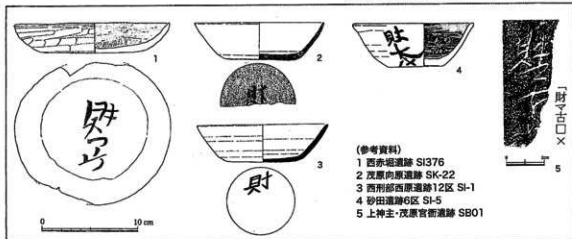
第55表 大関台・小屋原遺跡出土の墨書土器

No.	遺構名	土器No.	釈文	器種	記銘部位	墨・朱	時期	備考
1	SI-10	1	□ (〇カ)	土師器環	底部外面	墨書	9期	
2	SI-88	6	「財部」×	須恵器環	底部外面	墨書	7期	
3		7	「財部」	須恵器環	底部外面	朱書	7期	
4	SI-97	3	「大口」×	須恵器環	底部外面	墨書	7期	
5	SI-100	12	□	須恵器環	底部外面	墨書	7期	
6	SI-107	1	×□ (財カ)」	土師器環	体部外面	墨書	7期	
7		3	「財」	須恵器環	体部外面	墨書	7期	
8		4	「財部」	須恵器環	体部外面	墨書	7期	
9	SI-115	1	×財部×	土師器環	体部外面	墨書	9期	
10	SI-128	2	×財部×	須恵器環	体部外面	墨書	9期	
11	SI-129	1	「一」	土師器環	体部外面	墨書	8期	
12		9	「大」	須恵器環	底部外面	墨書	8期	
13	SI-132	2	×三	土師器環	体部外面	墨書	7期	非ロクロ製
14	SI-133	9	「財部」	須恵器環	底部外面	朱書	8期	
15		10	「財部」×	須恵器環	底部外面	墨書	8期	
16		11	「□ (戌カ)」	須恵器環	底部外面	墨書	8期	
17	SI-146	2	□	土師器甕	胴部外面	墨書	9期	文字か?
18	SI-147	1	×□□ (財部カ)」	土師器環	底部外面	墨書	7期	
19	SI-154	2	×□ (財カ) 部」	須恵器蓋	甲部内面	朱書	6期	
20	SI03	17	□	土師器埴	底部内面	墨書	3期?	墨痕か
21		18	□	土師器環	口縁部外面	墨書	3期?	墨痕か
22	SI07	2	□	土師器環	体部内面	墨書	9期	墨痕か
23	SI23	5	×□ (財カ) 部」	須恵器盤?	底部外面	朱書	6期	
24	SI24	7	「□ (財カ) ×	須恵器環	底部外面	墨書	7期	
25		11	×財部×	須恵器環	底部外面	墨書	7期	
26		13	「財部」	須恵器高台付環	底部外面	墨書	7期	
27		24	×財部×	須恵器蓋	甲部内面	朱書	7期	
28	SI25	3	□ (糸偏の文字カ)	土師器環	体部外面	墨書	8期	
29		7	×□ (財カ) ×	土師器環	体部外面	墨書	8期	
30	SI29	11	「□ (人カ)」	須恵器高台付環	底部内面	墨書	6期	墨痕か
31	SI30	2	×財部□□ (山家カ) ×	土師器環	底部外面	墨書	6期	非ロクロ製
32	SI42	14	×財部里本」	土師器環	底部外面	墨書	6期	非ロクロ製
33	SI44	1	「財松」	須恵器環	底部外面	墨書	8期	
34	SI63	1	「後部」	土師器環	底部外面	墨書	8期	
35	SI67	3	「□ (酒カ)」	須恵器環	底部外面	朱書	7期	
36		4	「木十カ」×	須恵器蓋	甲部内面	墨書	7期	
37	SI69	2	「一」	土師器高環	底部外面	墨書	6期	
38	SI71	2	□	土師器環	体部外面	墨書	9期	
39	SI74	6	「生田」	土師器環	体部外面	墨書	9期	
40	SI75	1	「阿法」	土師器環	底部外面	墨書	7期	
41		2	×□□□ (部カ) □ ×	土師器環	体部外面	墨書	7期	非ロクロ製
42		17	「財部」、「一」、「物」	須恵器高台付環	底部外面	墨書	7期	
43		32	「□□ (万呂カ)」	須恵器蓋	甲部内面	墨書	7期	
44	SI76	2	「山家」	土師器環	体部外面	墨書	9期	
45		15	「□ (財カ) ×	須恵器環	体部外面	墨書	9期	
46		16	「山山□ (四カ) ×	須恵器環	底部内面	墨書	9期	

(1～19は大関台遺跡、20～46は小屋原遺跡)



(※土器番号の頭に小がついているのは小屋原遺跡)



第147図 大関台・小屋原遺跡出土の「財部」墨書土器

半数を占めている。まずこれら「財部」墨書土器の特徴をまとめると次のとおりである。

出土時期 6期以降9期まで続き、その数量も6期が4点、7期が11点、8期が4点、9期が3点と、墨書土器全体の傾向とほぼ同様で7期（8世紀中～後葉）にピークがみられる。

器種 確認された器種は多い順に、須恵器坏11点、土師器坏6点、須恵器高台付坏2点、同蓋2点、同盤1点である。器種はすべて供膳形態に限られるが、8世紀代（6・7期）は坏に加え高台付坏・蓋などバラエティーがあるのに対し、9世紀代（8・9期）は坏が中心となる。

朱書 確認された5点は、6期2点、7期2点、8期1点と、8世紀代が中心である。なお墨書土器全体での朱書は、他にSI67（7期）の1点が確認されただけで、「財部」に特有なものとも言える。

字数 前後を欠損する例が多いものの、「財部」2字（SI－88-7やSI24-13等）が基本形とみられる。ただし少数ながら「財」1字（SI－107-3）や数文字（SI30-2やSI42-14）のものもみられる。なお「部」字はほとんどが略字体（アヤマ）で書かれるが、SI24-13のみは正字で書かれている。

記銘部位 書かれた部位は多い順に、底部外面13点、体部外面7点、蓋の甲部内面2点であり、坏類で内面に書かれたものはみられない。また体部外面のものは横位で書かれるものがほとんどであるが、9期の1点のみは縦位（SI76-15）であり、一つの新しい傾向とみられる。

出土位置 今回確認されたのはいずれも竪穴住居跡出土であるが、そのほとんどが台地東端部寄りに集中している。さらにこれらには各時期における最大規模の竪穴住居跡（6期のSI42、7期のSI24・75、8期のSI－133等）や鉄製品を多出する竪穴住居跡（7期のSI24・75、8期のSI25、9期のSI76等）などが含まれることから、長期に渡って集落の中心的エリアとして形成されていた様子が窺える。なお参考資料で示したとおり、周辺地域でも一定量の出土が確認されている。

さて「財部」は部集団名もしくは郷名を示しているものと考えられる。『和名類聚抄』によれば河内郡内には、文部・刑部・大統・酒部・三川・財部・真壁・輕部・池辺・衣川・駅家の11郷が知られるが、本遺跡一帯は所在地名（宇都宮市西刑部町）から刑部郷の有力比定地とされており、今回の「財部」墨書土器の多さから短絡的に郷名比定にはつながらない状況にある。いずれにしても本集落の「財部」墨書土器は、その量の多さや出土状況等から、「財部」を部集団名とする人々によって営まれたことを物語るものであろう。ちなみに参考資料の人名刻書瓦（第147図5）は、河内郡衙と推定される上神主・茂原官衙遺跡出土のものであり、本集落との関係性を考える上で興味深い資料である。

（参考文献）

- 平川 南 2000 『墨書土器の研究』 吉川弘文館
- 池田敏宏ほか 2001 『大岡台遺跡』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 安永真一 2001 『上神主・茂原 茂原向原 北原東』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 亀田幸久 2007 『西赤堀遺跡』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 津野 仁 2007 『東谷・中島地区遺跡群 8 砂田遺跡』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 内山敏行 2007 『東谷・中島地区遺跡群 9 中島笹塚古墳群・中島笹塚遺跡』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 亀田幸久 2013 『東谷・中島地区遺跡群 16 西刑部西原遺跡』 栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
- 上三川町教育委員会・宇都宮市教育委員会 2024 『上神主・茂原官衙遺跡Ⅲ』
- 宇都宮市教育委員会 2024 『小屋原遺跡Ⅰ』

写 真 图 版



遺跡遠景（南東上空から）



北地区調査状況（西上空から）



S115 土層断面 (東から)



S115 完掘状況 (南から)



S116 土層断面 (東から)



S116 完掘状況 (南から)



S117 完掘状況 (南から)



S117 カマド (西から)



S118 床面確認状況 (南から)



S118 完掘状況 (南から)



S120 土層断面 (東から)



S120 完掘状況 (南から)



S121 遺物出土状況 (南から)



S121 完掘状況 (南から)



S122 完掘状況 (南から)



S122 柱穴P4土層断面 (南から)



S123・24 調査風景 (北から)



S123・24 完掘状況 (南から)



SI24 カマド (南から)



SI24 柱穴P4 土層断面 (南から)



SI25 遺物出土状況 (南から)



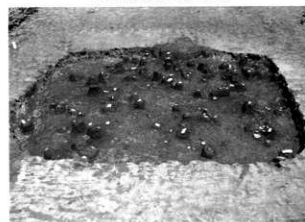
SI25 完掘状況 (南から)



SI30 土層断面 (南西から)



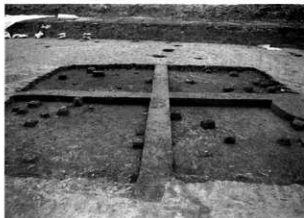
SI30 完掘状況 (南から)



SI39 遺物出土状況 (南から)



SI39 カマド (南から)



S140 土層断面（東から）



S140 完掘状況（南から）



S154 遺物出土状況（南から）



S154 完掘状況（南から）



S155 完掘状況（南から）



S159 完掘状況（南から）



S160 遺物出土状況（南から）



S160 完掘状況（南から）



S161 遺物出土状況（南から）



S161 完掘状況（南から）



S162 完掘状況（南から）



S162 カマド（南西から）



S163 土層断面（南から）



S163 完掘状況（南から）



S165 遺物出土状況（南から）



S165 完掘状況（南から）



S166 土層断面 (北西から)



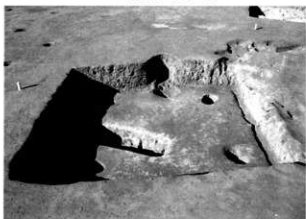
S166 完掘状況 (南から)



S167 土層断面 (西から)



S167 完掘状況 (南から)



S168 完掘状況 (南から)



S168 カマド (南から)



S169 完掘状況 (南東から)



S170 遺物出土状況 (南から)



S171 完掘状況 (南から)



S172 完掘状況 (南から)



S173 遺物出土状況 (南から)



S173 完掘状況 (南から)



S174 遺物出土状況 (南から)



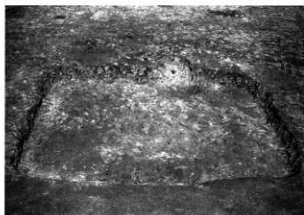
S174 完掘状況 (南から)



S175 遺物出土状況 (南東から)



S175 完掘状況 (南西から)



S181 完掘状況（南から）



S182 完掘状況（南から）



S183 完掘状況（西から）



S184 完掘状況（南から）



S186 完掘状況（南から）



S186 カマド周辺遺物出土状況（南から）



S186 男瓦出土状況（人名刻字）



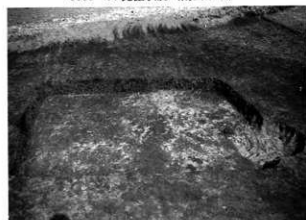
S186 軒丸瓦出土状況



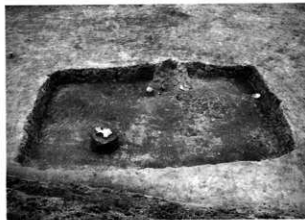
S185・91 完掘状況（南西から）



S187・SD55 完掘状況（南から）



S188 完掘状況（南から）



S189 遺物出土状況（南から）



S190 完掘状況（南から）



S192 完掘状況（南から）



S193 完掘状況（東から）



S194 遺物出土状況（東から）



S195 完掘状況（北から）



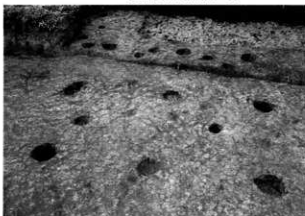
S196 土層断面（北から）



SB02・03 完掘状況（南東から）



SB02・03 完掘状況（北から）



SB14 完掘状況（南から）



SB18 完掘状況（南から）



SB18 南東隅柱断面（南から）



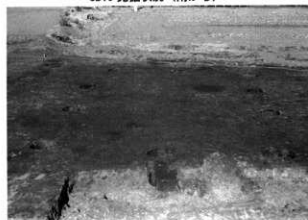
SB18 北棟持柱断面（南から）



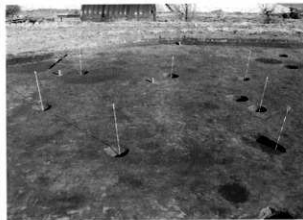
SB19 完掘状況（南から）



SB21 完掘状況（南東から）



SB22 完掘状況（南から）



SB23 完掘状況（西から）



SB24 完掘状況（西から）



SB25 完掘状況（西から）



SB26 完掘状況（西から）



SB27 完掘状況（西から）



S828 完掘状況 (西から)



S829 完掘状況 (南から)



S830 完掘状況 (西から)



SD40 全景 (西から)



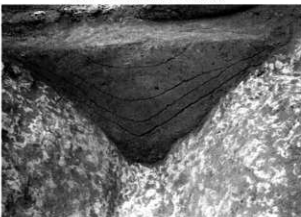
SD52・53・54 完掘状況 (北西から)



SD52・54 土層断面 (西から)



SD55・56・57 完掘状況 (南西から)



SD59 土層断面 (南から)



SE12 土層断面 (南から)



SE12 完掘状況 (南から)



SE13 土層断面 (北から)



SE14 完掘状況 (南から)



SE15 完掘状況 (南から)



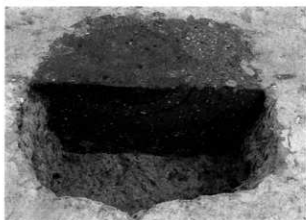
SE16 完掘状況 (南から)



SE19 土層断面 (南から)



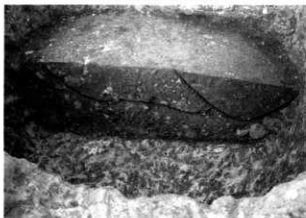
SE20 完掘状況 (南から)



SK289 土層断面 (南から)



SK294 完掘状況 (西から)



SK331 土層断面 (南から)



SK333 完掘状況 (西から)



SI15 出土土器



SI17 出土土器



SI20 出土土器



SI21 出土土器



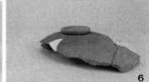
SI22 出土土器

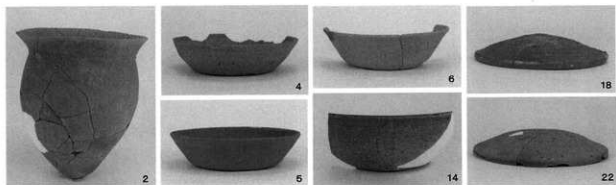


SI23 出土土器

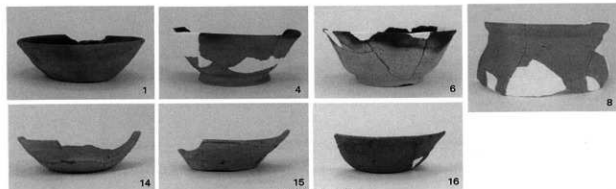


SI30 出土土器

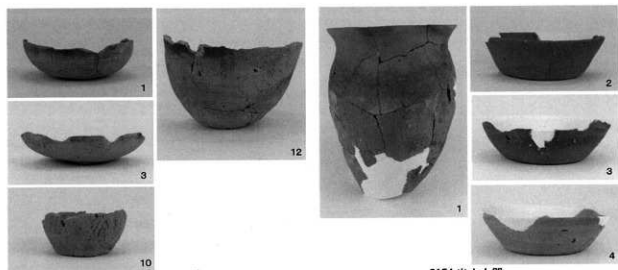




S124 出土土器

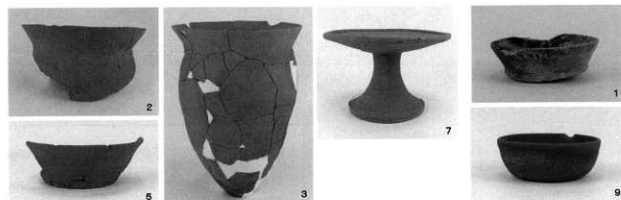


S125 出土土器



S139 出土土器

S154 出土土器



S159 出土土器

S160 出土土器

PL17



6



1



2



11



9



4



6

S162 出土土器

S163 出土土器

S165 出土土器



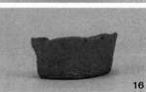
1



10



2



16



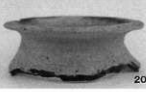
3



17



4



20



23



27



26



28

S166 出土土器



1



1



5



2



6



3

S167 出土土器

S168 出土土器



6



10

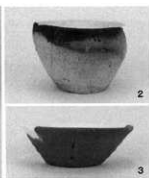


1

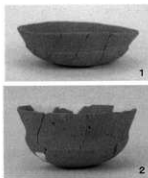


2

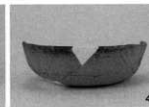
S169 出土土器



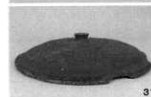
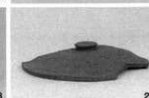
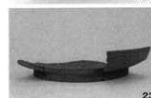
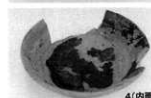
S172 出土土器



S173 出土土器



S174 出土土器



S175 出土土器



S182 出土土器



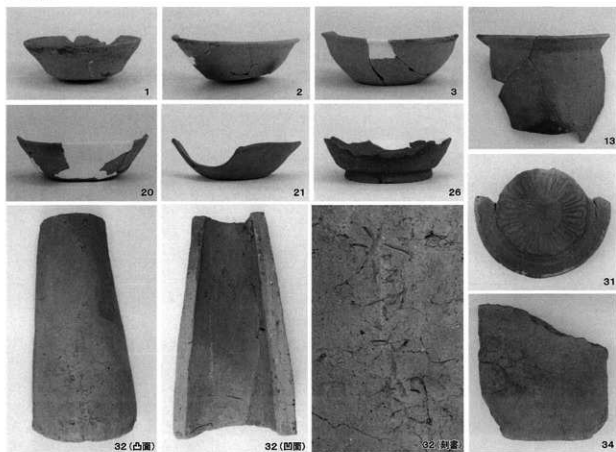
S183 出土土器



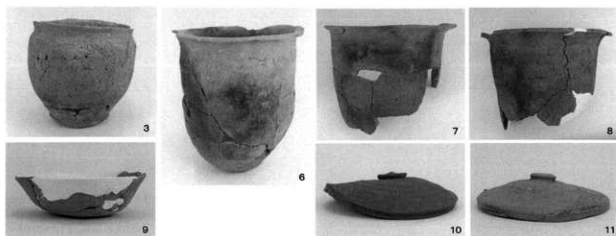
S184 出土土器



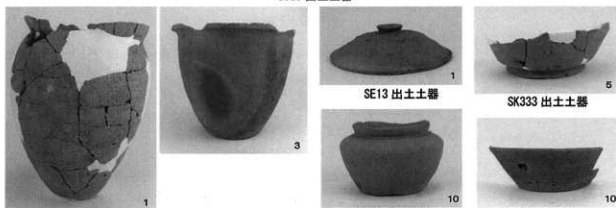
S188 出土土器



S186 出土土器



S189 出土土器



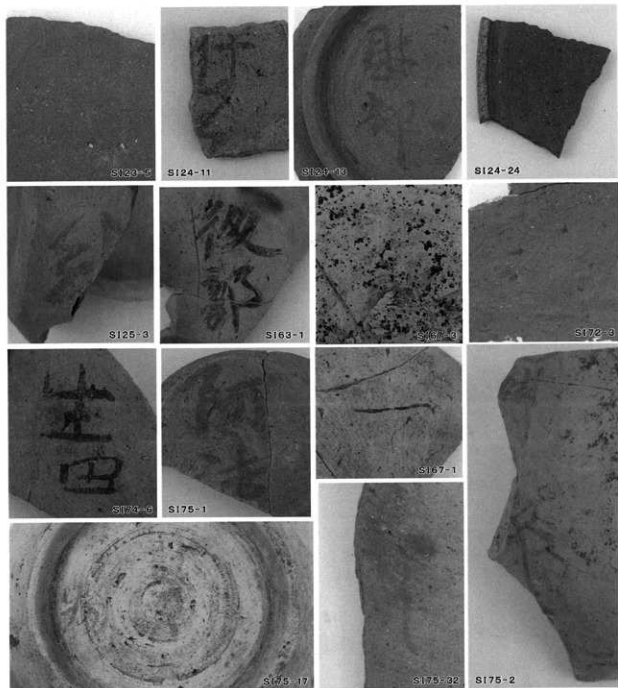
S194 出土土器

SE20 出土土器

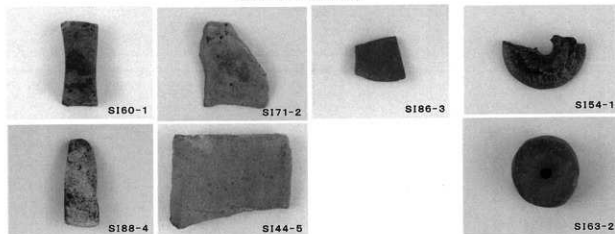
SK334 出土土器

SE13 出土土器

SK333 出土土器



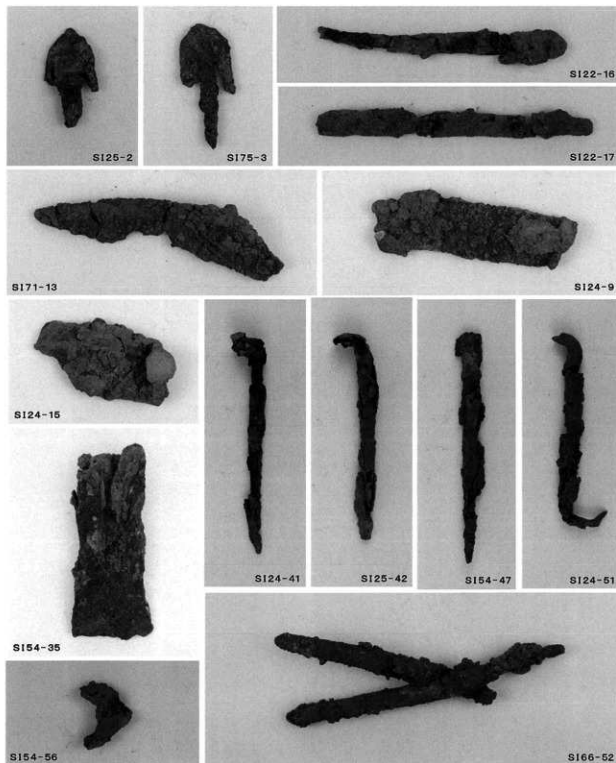
墨書・朱書・刻書土器



砥石

紡錘車

PL21



鉄製品

報告書抄録

ふりがな	こやはらいせき
書名	小屋原遺跡Ⅱ
副書名	
巻次	
シリーズ名	宇都宮市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第117集
編著者名	梁木 誠 田續麻友子 小曾戸 祥彦
編集機関	宇都宮市
所在地	宇都宮市旭1丁目1番5号 TEL028-632-2764
発行年月日	西暦 2025年(令和7年) 3月14日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こやはらいせき 小屋原遺跡	うつのみやし 宇都宮市 にしおきかわまち 西刑部町	09201	4347	36度 29分 30秒	139度 55分 30秒	19980731 ～ 20000331	2,500	市道建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
小屋原遺跡	集落跡	古墳時代 ～ 平安時代	竪穴住居跡 47軒 掘立柱建物跡 35 棟、溝状遺構 55 条、井戸跡 20基 土坑 23基等	土師器、須恵器、 紡錘車、砥石、 鉄製品等	古墳時代後期～平安時 代初期にかけての大規 模集落跡で、「財部」墨 書土器が多く出土。

宇都宮市埋蔵文化財調査報告書 第117集

小屋原遺跡Ⅱ

発行 宇都宮市

編集 宇都宮市

宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL 028-632-2764

発行日 令和7年3月14日発行

印刷 有限会社 カミヤ

宇都宮市瑞穂3-1-7 瑞穂野工業団地

TEL 028-656-5211
